

誰もが「おめでとう」と誕生を祝福され

えにし白書 2017

えにし実践報告書



滋賀の縁創造実践センター

「ありがとう」と看取られる地域づくり

えにし白書2017

滋賀の縁創造実践センター

目次

— えにし白書2017の発行によせて	01
— 滋賀の縁創造実践センター 設立趣意書	02
— 滋賀の縁創造実践センター 会員名簿 (平成30年3月31日現在)	03

縁・共生の場づくり

01 滋賀の縁認証事業	04
02 遊べる・学べる淡海子ども食堂	06

しくみづくり

03 社会福祉施設を利用した子どもの夜の居場所 フリースペース	10
04 県との公私協働事業 子どもたちの社会への架け橋づくり事業	12
05 ひきこもりがちな人と家族の支援	16
06 小さな働く場づくり 傍楽(はたらく)体験	18
07 医療的ケアの必要な重度障害児・者の入浴支援	19
08 えにしの日(3.11)・えにし週間	20

ひとづくり・つながりづくり

09 多職種連携のチームづくりを学ぶ 滋賀の縁塾	22
10 多職種連携のチームづくりを学ぶ 事例検討多職種サロン	23
11 福こい♡縁結び	24
12 広報活動	25

縁の仲間

13 縁の志を共有し実践する仲間	26
— 滋賀の縁創造実践センター これまでのえにし活動実践マップ	35
— 縁 5年間の目標と実践 (平成30年3月31日現在)	36
— 滋賀の縁創造実践センター 平成29年度の歩み	38

えにし白書2017の発行によせて

「えにし」もしくは「えにしさん」。滋賀の縁創造実践センターのことをこんなふうと呼んでくださる方が増えてきました。このやさしく、隣人のような親近感あふれる響きは、滋賀の縁創造実践センターがめざしてきた福祉の姿を映してくれているのだらうと思います。これは、ほんとうに滋賀の縁創造実践センターの会員の方々の実践の賜物です。

子どもの夜の居場所フリースペース、子ども食堂、児童養護施設や里親のもとで暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり、ひきこもりがちな人と家族の支援、働く場づくり、重度障害のある人の入浴支援、そして縁塾、縁結び。平成26年9月からの4年間の活動の中に多くの方との出会いがあり、協働が生まれ、育ちました。そこには生きづらさを抱える人や日々の安心を求めている人たちへのあたたかなまなざしという共通の視点、共感がありました。

このまなざしはどこから発せられているのかと振り返ると、制度や施策による福祉の分野にとどまらず、むしろ暮らしの場、地域というところから発せられていることに気づきます。そして、生きづらさを抱える人の存在に気づいた人たちが、気づいた人の責任として動き出そうと、仲間をつくり、手づくり、手探りで活動を始めてくださった珠玉の縁実践も、また、暮らしの場、地域のなかにあるのです。

「えにし」は、平成31年4月1日から新たな段階に移ることになりました。「ネクスト縁」は、5年間の活動を通じてつくられた“縁”の力を滋賀県社会福祉協議会のもつ力と一つに統合し、継続的で発展する力をもつ組織として、「えにし」がめざしてきた共生社会づくりの実践者となろうというものです。

だれもおめでとくと誕生を祝福され、ありがとうと看取られる地域をつくる。この4年間、取り組みを共にしてくださった方がたのたゆみない努力、志を同じくする仲間との対話と協働する楽しさ、なによりもえにしの活動でつながったお一人お一人、この白書では伝えきれない共感し合えるよろこびというものを行間も含めお届けします。新たな一年もよろしくお祈りします。

滋賀の縁創造実践センター 設立趣意書

[設立趣意]

今、滋賀の福祉にかかわる私たちには、糸賀一雄らが福祉や社会の未来のためにつないでくれた“バトン”があります。バトンにつめられた思想と実践と希望。私たちは、民間福祉の実践者として、「自覚者が責任者」との思いをあらためて共有・共感しました。

私たちの問題意識は、2025年問題といわれる少子高齢化への不安とともに、重なり合う生活課題を抱えながら支援につながらない人々、制度の狭間にあるため支援が得られない人々等、社会的孤立や生活困窮の問題が広がっていることです。私たちは、この問題を見過さず、滋賀に暮らす一人ひとり、だれもが、「おめでとう」と誕生を祝福され、「ありがとう」と看取られるまで、ふだんのくらしのしあわせ(ふくし)がもてる社会を創りたいと考えます。

このため、民間福祉関係者が枠を超えてつながり、地域住民とともに社会とつながっていない人々の縁を紡ぎなおし、生き生きと地域のなかで暮らせるよう支援するしくみと実践を県下にくまなくつくっていくための推進母体として、「滋賀の縁創造実践センター」を設立します。

このセンターの取り組みは、いわば福祉の新しい手法へのチャレンジであるとともに、滋賀の新しい福祉文化を創り、発信していくものであります。多くの方々のご賛同、ご参画をお願い申し上げます。

[センターがめざすもの]

- ① トータルサポートの福祉システム化
- ② 制度の充実と制度外サービスへの取り組み
- ③ 縁(えにし)・支えあいの県民運動

[活動内容]

本センターは、上記の設立趣意を踏まえ、次の活動を行います。

- ① 制度で対応ができないニーズに対する支援の開発と実践
- ② 県内各地で相談・生活支援に取り組む支援者の支援
- ③ 県内各地域におけるトータルサポートのための協働のしくみづくり・トータルサポートの好事例の普遍化

滋賀の縁創造実践センター 会員名簿 (平成30年3月31日現在)

団体会員

一般財団法人 滋賀県民間社会福祉事業職員共済会、一般財団法人 滋賀県老人クラブ連合会、一般社団法人 滋賀県介護福祉士会、一般社団法人 滋賀県保育協議会、公益財団法人 滋賀県身体障害者福祉協会、公益社団法人 滋賀県社会福祉士会、公益社団法人 滋賀県手をつなぐ育成会、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会、滋賀県介護支援専門員連絡協議会、滋賀県里親連合会、滋賀県児童福祉入所施設協議会、滋賀県社会福祉法人 経営者協議会、滋賀県障害者自立支援協議会、滋賀県民生委員児童委員協議会連合会、滋賀県老人福祉施設協議会、滋賀県市町社会福祉協議会会長会、社会福祉法人 滋賀県視覚障害者福祉協会、社会福祉法人 滋賀県母子福祉のぞみ会、医療福祉・在宅看取りの地域創造会議、レイカディアえにしの会、滋賀県救護施設協議会、淡海フィランソロピーネット

法人会員

大津	(福)博愛会、(福)青桐会、(福)六太福祉会、(福)近江笑生会、(福)近江神宮仁愛会、(福)大石福祉会、(福)大津市社会福祉協議会、(福)大津市社会福祉事業団、(福)大津ひかり福祉会、(福)おおみ福祉会、(福)恩徳寺会、(福)華頂会、(福)唐崎福祉会、(福)唐橋福祉会、(福)共生シンフォニー、(福)桐生会、(福)幸寿会、(福)好和会、(福)湖青福祉会、(福)小鳩会、(福)滋賀同仁会、(福)志賀福祉会、(福)真盛園、(福)新緑会、(福)夕陽会、(福)膳所福祉会、(福)石光山会、(福)禅心福祉会、(福)せんだん二葉会、(福)つばさ会、(福)春風会、(福)琵琶湖愛輪会、(福)美輪湖の家大津、(福)楽樹
湖南	(福)あけぼの会、(福)永山会、(福)恩賜財団済生会、(福)恵愛会、(福)湖南会、(福)彩陽会、(福)しあわせ会、(福)慈恵会、(福)すぎのこ保育園、(福)聖優会、(福)パレット・ミル、(福)ひかり会、(福)びわこ学園、(福)みのり、(福)守山市社会福祉協議会、(福)守山向日葵会、(福)野洲慈恵会、(福)野洲市社会福祉協議会、(福)友愛、(福)よつば会、(福)栗東市社会福祉協議会、(福)良友会、(特非)草津市中心身障害児者連絡協議会、(特非)ものわすれカフェの仲間たち
甲賀	(福)あいの土山福祉会、(福)芦穂会、(福)近江ちひろば会、(福)近江和順会、(福)大木会、(福)おさなご会、(福)甲賀会、(福)甲賀学園、(福)甲賀市社会福祉協議会、(福)甲南会、(福)湖南市社会福祉協議会、(福)さわらび福祉会、(福)しがらき会、(福)信楽福祉会、(福)天地会、(福)八起会、(福)ひまわり会、(特非)NPOワイワイあぼしクラブ
東近江	(福)阿育会、(福)一善会、(福)近江兄弟社地塩会、(福)近江八幡市社会福祉協議会、(福)グロー(GLOW)～生きることが光になる～、(福)恵泉会、(福)湖東会、(福)さくら会、(福)サルビア会、(福)慈照会、(福)真寿会、(福)布引会、(福)八宮会、(福)八幸会、(福)万松会、(福)東近江市社会福祉協議会、(福)日野町社会福祉協議会、(福)日野友愛会、(福)ほのぼの会、(福)めぐみ会、(福)雪野会、(福)竜王町社会福祉協議会、(福)六心会
湖東	(福)愛荘町社会福祉協議会、(福)あすなろ福祉会、(福)近江ふるさと会、(福)甲良町社会福祉協議会、(福)さざなみ会、(福)さざなみ学園、(福)椎の実会、(福)慈水会、(福)白露会、(福)大樹会、(福)多賀町社会福祉協議会、(福)稲朋会、(福)豊郷町社会福祉協議会、(福)ノゾミ会、(福)彦根市社会福祉協議会、(福)彦根福祉会、(福)ふたば会、(福)みづほ会、(福)三つ和会、(福)ゆたか会、(福)若葉会
湖北	(福)柏葉会、(福)カトリック京都司教区カリタス会、(福)光寿会、(福)公悠会、(福)湖北真幸会、(福)湖北報恩会、(福)青祥会、(福)尊徳会、(福)達真会、(福)長浜市社会福祉協議会、(福)はのくに、(福)米原市社会福祉協議会、(福)まんてん
高島	(福)大阪自彊館、(福)光養会、(福)新旭みのり会、(福)たかしま会、(福)高島市社会福祉協議会、(福)虹の会、(福)はこぶね会、(福)ゆたか会
県域	(福)滋賀県社会福祉協議会

個人会員

上野谷 加代子、故 山辺 朗子、上西 祥之、廣田 敬史、大谷 雅代、宮本 育子、前阪 良憲、疋田 由香里、上村 文子、尾畑 聡英、山元 浩美、北居 理恵、松本 敦三、森本 美絵、奥田 与嗣男、西村 孝実、中根 超信、村上 浩世、平井 佑希、南 多恵子

賛助会員

元三フード株式会社、総本山 西教寺、株式会社なんてん共働サービス、大津市仏教会、滋賀県仏教会、一般社団法人 きれいや総研 滋賀中央センター、株式会社彩生舎

※(福)…社会福祉法人 (特非)…特定非営利活動法人

01 滋賀の縁認証事業

目的 ともに生き、支え合う滋賀の福祉モデルを共有

滋賀の縁認証事業は、縁センターがめざす「現行の制度で解決できない生活課題、地域の福祉課題に気付いた人たちが、実践者として、問題解決のために協働して具体的な取り組みをしている活動」を、滋賀の福祉実践モデルとして県、縁センター、滋賀県社会福祉協議会の3者が認証するものです。

一人ひとりが大事にされ、社会的孤立をつくらない共生社会をめざした活動や、現行制度の枠にとらわれず、新たなつながりや視点から課題解決に取り組む活動を県内にひろげることにより、共生社会を実現していくことを目的としています。

実践 4団体が認証されました！

- 平成29年10月31日 第3回 滋賀県社会福祉大会にて認証プレート贈呈
- 平成29年11月24日 第4回 認証式 … 4団体を認証、9団体を奨励



【認証団体】

第14号 認定特定非営利活動法人あさがお(大津市)

サービスを利用する権利、権利侵害から本人を護る権利擁護支援の仕組みの構築

行政・司法・民間が一体となった「権利擁護の仕組み(各専門職の連携体制整備、人材の育成等)」を構築することにより、行政と三士会(弁護士・司法書士・社会福祉士)等の関係機関とあさがおが連携をとりながら一人ひとりを大事に支援する仕組みを構築してきました。この仕組みは県内各圏域における権利擁護センターの立ち上げにも大きく寄与し、取り組みをけん引する存在です。

第15号 認定特定非営利活動法人 四つ葉のクローバー(守山市)

社会的養護の必要な若者の支援モデル

社会的養護の必要な若者等の相談支援をしています。建物内に就労支援機能(餃子屋)を併設し、入居者や地域の中高生の就労体験の場として若者の自立支援を行ってきました。自立援助ホームの対象年齢を超えてもサテライト機能(制度外)を別途設けて継続的に支援しているほか、生きづらさを抱えた若者が集える場や寄付を浄財に四つ葉未来基金を設立し、若者の学費や進学、資格取得の援助をしています。

第16号 特定非営利活動法人CASN(カズン)(大津市)

悩みを抱えた子どもたちに寄り添い、生きる力を育む活動

保育士、教職者など様々な立場の約30名が集い平成11年に法人を結成し、子どもの喜びや不安に寄り添う、18歳までの子ども専用電話(チャイルドライン)の取り組みを14年間にわたり実施。相談の聞き手は養成講座を受けたボランティアです。子どもたちの心に寄り添い、向き合い、子どもから信頼される、そうした大人の意識や感性が子どもの心をしっかりと受け止める地域社会の実現をめざして活動しています。

第17号 社会福祉法人あすなろ福祉会(豊郷町)

あったかほ一むを拠点とした多世代の居場所づくり

平成18年度より特定非営利活動法人とよさとまちづくり委員会、県立大学「とよさと快蔵プロジェクト」と協力して古民家を改修し、1階を高齢者の宅老所、2階を大学生の下宿としています。この家賃収益を宅老所の維持費に充て、住民が主体となって子どもや高齢者、障害者など誰もががどい交流できる「縁側」づくりを実施。居場所づくりが地元への誇りや愛着を生む活動にもつながっている、日本でも数少ない取り組みです。

【奨励活動】

特定非営利活動法人 ふれあいセンター「そよ風」(湖南市)

あったかほ一むを拠点とした多世代の居場所づくり

自由に入出りができる地域の居場所となるように住宅地にある民家を改修し、乳幼児や高齢者が集える居場所を提供しています。毎日鍵があげばなしで、高齢者が孫を子守しながら訪れたり、流しそうめん等のイベントを実施するなど、地域交流の場となっています。また、地域の子育てを支える拠点として親子で参加できる居場所づくりを実施しています。

特定非営利活動法人どろんこ(高島市)

あったかほ一むを拠点とした高齢者の健康づくりと子どもの体験交流の“場”づくり

平成17年におもちゃ図書館を設置し、地域の子どもの遊び場を提供する「どろんこ」の名のとおり農業体験やサマーキャンプ、スキー、水泳教室などの障害児も交えた学びと交流の場を提供しています。また、市の介護予防・日常生活支援総合事業の一部を受託し、高齢者の介護予防や健康づくりの取り組みの支援も実施しています。

特定非営利活動法人あめんど(大津市)

子ども・若者の成長をとことん見守り、分野・制度により途切れることのない支援活動

母親たちによる認可外保育園開設から活動をはじめ、発達障害、不登校やいじめなど様々な事情を抱えた子どもを対象を広げて現在は特別支援教室「まよっか」を運営。また、平成26年にはひきこもりの若者に対する就労支援も開始し、野菜の栽培から乾燥野菜への加工・販売という流れの中で少しずつ社会と関わる機会を増やし、自立にむけた取り組みをしています。

認定特定非営利活動法人 大津夜まわりの会(大津市)

ホームレス状態や住居に困っている人を「断らない」「見捨てない」支援

平成13年から琵琶湖畔や駅などで路上生活者の居宅生活への移行支援、夜まわり活動、越冬支援の炊き出しなど、先駆的にホームレス問題に取り組んできました。平成23年に住宅や就労、債務整理等の相談や日中の居場所として「ひまわりサロン」を立ち上げました。ここではサロン利用者同士の交流だけでなく、自立と自尊感情を高める効果も出ています。

特定非営利活動法人Links(リンクス)(彦根市)

子ども・若者の実情に応じた多様な居場所づくり

子どもたちと子どもたちをサポートする大人や若者にとって居心地の良い場所づくり「伴走、伴歩、伴止」を理念とした居場所活動を実施しています。学び育ち教室や、外国にルーツをもつ子どもや若者を対象とした居場所、子ども食堂、ひとり親家庭の子どもの居場所など多様な居場所づくりをしています。

特定非営利活動法人元気な仲間(高島市)

地域助け合い支援センター「たすけあい高島」

住民同士のつながりを強め、元気に暮らせる地域づくりとして平成22年に会員による有償での助け合いの仕組みをつくりました。元気な高齢者が活動の担い手として参加できるよう「高島市住民参加型助け合いサービス連絡会」を設立し、支援者同士の顔の見える関係づくりと市全体のサービスの向上を図っています。このような市町域の連絡会は全国でも数少ない取り組みです。

特定非営利活動法人つどい(長浜市)

耕作放棄地を活用し地域に役割を生み出す共生社会づくりの取り組み

高齢化を背景に増え続けている耕作放棄地を借用し、農園として再生させ、作物の生産を行っています。農園では、地域住民をはじめ、農業高校の高校生、ひきこもりがちな方、障害のある方がともに作業しており、とれた作物は販売所等で販売するほか、高齢者がみそなどに加工し収入を得るコミュニティビジネスを構築しています。

近江八幡「おやじ連」(近江八幡市)

退職後男性グループをネットワーク化

平成13年から近江八幡市が主催する退職後男性を対象とした講座の受講生が、退職男性グループを結成し、ボランティア活動や生きがい活動をはじめました。活動グループ同士が「おやじ連」としてつながり、それぞれが実施している活動のほかにも自主活動を実施し、孤立しがちな退職後男性が地域に踏み出すきっかけとなっています。

たかしま災害支援 ボランティアネットワーク「なまず」(高島市)

災害時に困難を抱える人の視点に立った、共に生きるための減災プログラムの開発と実践

阪神・淡路大震災をきっかけに危機感を共有する地域住民が集まり、平成13年に結成。「備えと構えで減災を目指す」をテーマに漫才や劇を取り入れたわかりやすい防災・減災に対する啓発活動を県内外で実施し、全国の自治会活動の後押しになっています。継続の中でより楽しく取り組める減災プログラムの開発など、発展し続けています。

02 遊べる・学べる淡海子ども食堂

目的 地域で子どもの笑顔を育む!

「遊べる・学べる淡海子ども食堂(以下、淡海子ども食堂)」は、「ごはん」を通じて地域ぐるみで子どもを見守り育てていく、垣根のない居場所です。食堂をきっかけにさまざまな世代がつながり、困っている人を放っておかないあたたかいまなざしがあふれる地域づくりをめざしています。

みんなで囲むあたたかいごはんや勉強・遊びを通して、子どもたちが地域のなかで大事にされて「ほっ」と安心できる食堂づくりを、モデル事業として推進しています。



▲ちゅうざ子ども食堂



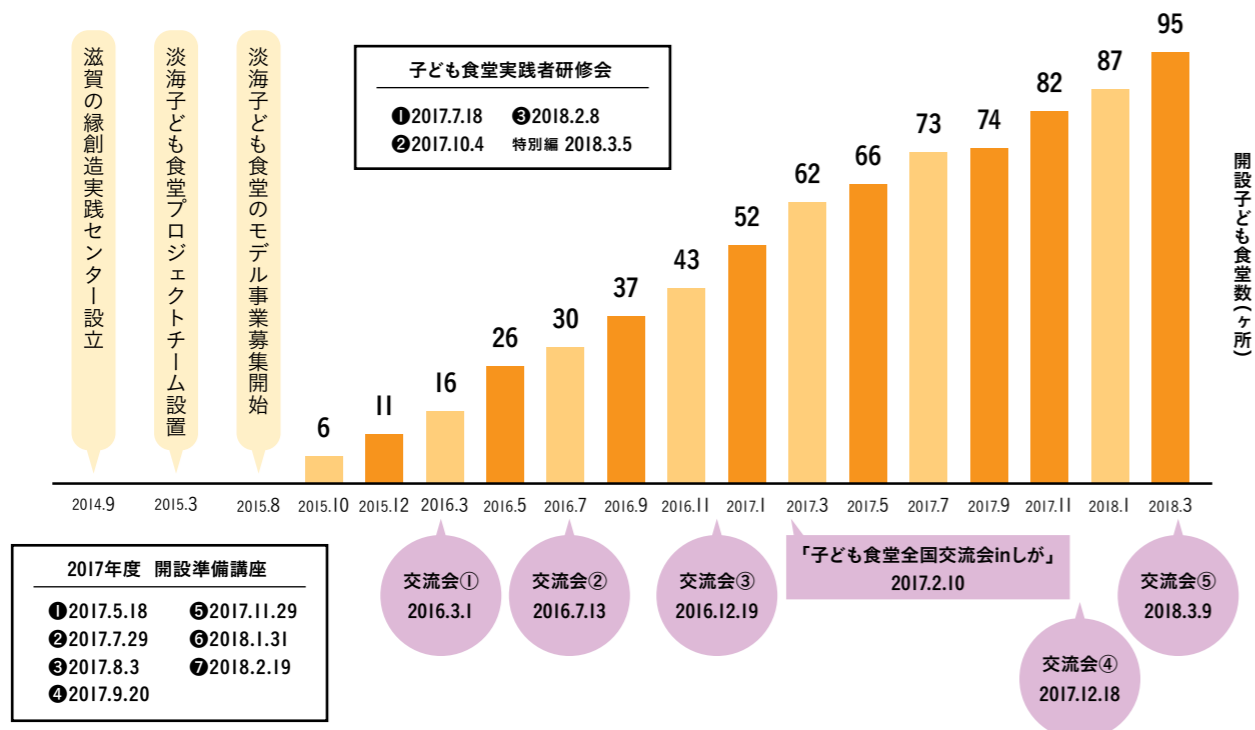
▲にじの家サロンこども食堂&寺子屋

実践 淡海子ども食堂の広がり

淡海子ども食堂は平成27年8月からモデル事業の募集を開始し、平成30年3月で開設数は95ヶ所となりました。それぞれの食堂の実施主体は、ボランティアグループや任意団体、学区(地区)社協など地域住民が中心になって取り組んでいるものが多いですが、特定非営利活動法人、

社会福祉法人、会社組織などの取り組みも増えており、多岐にわたっています。

開催頻度は月1回程度が最も多く(57ヶ所)、日程は土日の昼間(52ヶ所)・平日の夜(28ヶ所)を主に、各食堂で工夫をしながら無理のない範囲で取り組まれています。



淡海子ども食堂実践者研修会

子ども食堂の実践の中で見えてきた課題に対し、実践者がともに学び合う場として実践者研修会が始まりました。まずは、以前から希望の声が多かった3つのテーマのほか、特別編として甲賀市社協との共催で「食物アレルギー」についての研修会を行いました。講師の先生のお話や実際の体験、参加者同士の情報交換をとおして、学びの深まる場となりました。



★第1回「運営の継続・応援団づくり」

開催日:平成29年7月18日(火)

参加者:19食堂49名

講師:特定非営利活動法人山科醍醐こどものひろば
理事長 村井琢哉さん
こどもソーシャルワークセンター 代表 幸重忠孝さん

～参加者の声～

- ・募金会への取り組みや乾杯チャリティの話が興味深かったです。
- ・細く長く継続していくことが大切だと感じました。
- ・話を聞いて、始めてまだ間がないので少しずつ取り組んでいければと思いました。

★第2回「子どもとの関わり方」

開催日:平成29年10月4日(水)

参加者:17食堂35名

講師:こどもソーシャルワークセンター 代表 幸重忠孝さん

～参加者の声～

- ・「子どもたちのしんどさ」というものを具体的に知らなかったのが、今回の会で知れてよかったです。今後の情報ももとに子どもたちの心に寄りそえる子ども食堂をしていきたいです。
- ・遊びを体験させてもらえて、導入しようと思えました!
- ・色々な研修を重ねてきて、各食堂のスタンスができてきた中で、いざ課題を抱えた子どもが来た時の対応方法に困られている方が多いように思います。今回物語を作り子どもとの関わりをイメージすることで多様な関わり方、支援のあり方が学べたのではないかと思います。

★第3回「子ども食堂で役立つレシピ★調理法を学ぼう!」

(協力 大阪ガス株式会社滋賀事業所/
“子どもの笑顔”の Sponsor)

開催日:平成30年2月8日(木)

参加者:10食堂32名

講師:大阪ガスクッキングスクール講師

～参加者の声～

- ・他の食堂の方といろいろ話ができてよかったです。メニューも実践できそうなものもあり、次にやりたいと思います。
- ・料理をするのがいいと思いました。知らない方も協力できる、みんなで知り合える、よかったですと思います。
- ・身近な食材で作ったことのないメニューを覚えることができて参考になりました。

★特別編「正しく知ろう!食物アレルギー」

(共催 社会福祉法人甲賀市社会福祉協議会)

開催日:平成30年3月5日(月)

参加者:8食堂39名

講師:滋賀県立小児保健医療センター
小児科主任部長兼診療局長 楠隆さん
看護師 笹畑美佐子さん

～参加者の声～

- ・身近に食物アレルギーを感じることができ、実際にその場に居合わせた時にどのように対処すればよいかよくわかり良かったです。
- ・気になっていた事をこまかく聞かせていただき本当に参考になりました。
- ・年に1度は研修会を受講したいと思います。食事メニューの表示等、情報を開示することにも努めたいです。

「遊べる・学べる淡海子ども食堂をはじめよう!」の作成・配布

これから子ども食堂を始められる方の参考になるようにと、冊子を作成しました。子ども食堂をされている方の声をもとに、「子ども食堂の一日の流れ」や「子ども食堂をはじめするための先輩たちからのヒント」などを掲載しています。
作成部数:2,000部

「子ども食堂だより」の作成・発行

子ども食堂をされている方同士の情報交換のツールになるようにと、新たに子ども食堂だよりを作成し、4回発行しました。子ども食堂実践者へのインタビューや、開催した研修会・交流会等の内容、各食堂から報告されたエピソードなどを掲載しています。

淡海子ども食堂開設準備講座

「これから子ども食堂を始めたい」「子ども食堂の話を一度聞いてみたい」という方を対象にした子ども食堂開設準備講座を今年度は県内7ヶ所で開催しました。延べ336名が参加し、参加された方の中から20食堂48名の方が新しく子ども食堂をスタートされました。



★第1回(湖東会場)

開催日:平成29年5月18日(木) 参加者:74名
実践報告:「ピハラー子ども食堂」(ピハラー彦根)
「湖北子ども食堂“Liaison(リエゾン)”」
(任意団体リエゾン)

★第2回(高島会場)

開催日:平成29年7月29日(土) 参加者:79名
実践報告:「出会い食堂♡よっといで♡」
(若葉町自治会・ピアンネ)
「ながはま子ども食堂」(社会福祉法人グロー)

★第3回(甲賀会場)

開催日:平成29年8月3日(木) 参加者:40名
実践報告:「たんぼぼ食堂」(伴谷たんぼぼの会)

★第4回(湖北会場)

開催日:平成29年9月20日(水) 参加者:32名
実践報告:「湖北子ども食堂“Liaison(リエゾン)”」
(任意団体リエゾン)
「こどもの居場所“まんま”」
(北郷里子どもの居場所つくりの会)

★第5回(大津会場)

開催日:平成29年11月29日(水) 参加者:35名
実践報告:「日吉台子ども食堂」(日吉台学区社会福祉協議会)
「ぜぜ子ども食堂」(ぜぜ子ども食堂運営委員会)

★第6回(湖南会場)

開催日:平成30年1月31日(水) 参加者:47名
実践報告:「にじの家サロン子ども食堂&寺子屋」
(しが健康医療生活協同組合)
「子ども食堂ひがっこ」(吉身東町自治会)

★第7回(東近江会場)

開催日:平成30年2月19日(月) 参加者:29名
実践報告:「ほのちゃん食堂」(社会福祉法人ほのぼの会)
「日野子ども食堂 ひまわりカフェ」(日野子ども食堂)

～参加者の声～

- ・事例発表の後のグループ毎の話し合いも参加者の思いが聞けてよかったです。
- ・立ち上げについては少人数でも可能で、難しく考える必要はないと気がつきました。
- ・これからやっていきたいことが手探りではあるが進めていけそうだと思えました。いろいろ考えて準備していきたいと思います。
- ・同じ思いを持つ方がたくさんいらっしゃる事がわかり、話が聞けてよかったです。いろいろ心配なことがありましたが、質問を聞いて参考になりました。
- ・子どもたちが地域の皆さんや学校との距離を近づけてくれているということがわかりました。
- ・実際始められた時の本音が聞けてよかったです。

市町社協子ども食堂支援者研修会(地域福祉・ボランティア担当者研修会)

地域福祉を推進する中核機関として位置づけられている社協の職員が、地域における子ども食堂等の「居場所」の大切さを学び、コミュニティワーク力を高めることを目的として開催しました。

開催日:平成29年11月20日(月) 参加者:15名
講師:京都ノートルダム女子大学 現代人間学部
准教授 酒井久美子さん
こどもソーシャルワークセンター 代表 幸重忠孝さん
実践報告:東近江市社会福祉協議会 地域福祉課
主幹 金子泉美さん

～参加者の声～

- ・担当者だけで進めるのではなく、色々な行政や団体や地域の方を巻き込んでいったらいいことがわかりました。とにかくスタッフさんの思いを聞くことを一番大事にすすめていきたいと思いました。
- ・実際に子ども食堂を運営する中で出てくる課題に対して、支援者同士で考えながら進めておられることがわかりました。しんどさを抱えた子どもだけでなく、地域の子どもが集まって、そこが中心になってつながりが広がっていると感じました。

淡海子ども食堂大交流会

淡海子ども食堂実践者同士の交流会を2回開催しました。初めての夜の開催もあり、普段の会議では話しきれないことを語れる場となりました。また、この他に各市町で、身近な地域にある子ども食堂同士の交流会も開催されました。

★第1回 開催日:平成29年12月18日(月) 参加者:9 食堂35名 ～参加者の声～

- ・普段の講座では、中々視察までの約束や、連絡先の交換までの関わりを持っていませんでしたが、今回食事やお酒での交流を通して、深い会話、つながりが持てたように感じます。「大人食堂」のような感じで楽しかったです。
- ・「学ぶ」とかではなくそれぞれが好きなように交流ができる事が楽しかったです。



★第2回 開催日:平成30年3月9日(金) 参加者:12食堂25名 ～参加者の声～

- ・皆様、いろいろ工夫されているのがよくわかり、こういった交流会がとても大切だと思いました。力ややる気、モチベーションになると思います。
- ・同じグループのとてもパワフルに動いておられる方から、具体的な動き方を聞くことができました。これまで何から動いたら行政や地域とつながれるのかわからず、動けずいたので、とてもよかったです。
- ・子ども食堂に来てほしい家庭の子が実際に来てくれているのか疑問でしたが、大勢の中に少しでも来てくれれば良いし、その子が継続して来てくれることに意味があることに気がきました。
- ・各子ども食堂に、それぞれの形があり、工夫があるのがいいなと思いました。こういう情報交換ができるのが貴重な財産になるなと思いました。今日はありがとうございました。



episode

実施団体・活動者より

小学校の先生が翻訳を申し出てくださり、外国籍の家庭にも案内を届けられるようになりました。

大人と子どものように年齢が違っても、食の好みも違うので難しいなと実感しています。大人が良いと思ってつくったご飯でも、子どもはあまり好きな味付けじゃなかったこともありました。

毎回来ている子どもが、先日初めて「おばちゃん、なんか手伝おうか?」と言ってくれました。見てくれたんだなと思って嬉しかったです。

学校に行けなくても、ここには来てくれていた子どももいました。続けている中で子どもにとって大事な居場所になっていんだと思うと、今後もずっと続けていくことが大切だと感じました。

子どもの参加費を100円としていましたが、子ども食堂に行くことを親に言えず、100円を持って来られない子どもがいることを知りました。スタッフで相談して、子どもは無料にすることを決めました。

始める前はお金がいくらかかるかわからず不安でしたが、続けている中で少しずつ応援団が増え、今後の見通しも立てられるようになりました。

最初は野菜を食べてほしいという思いもありバランスの良い食事を心がけていましたが、子どもから「学校ではがんばって給食残さず食べてるんやから、ここでは好きなものを食べたい!」という声があり、今は子どもたちの好きなメニューを主に作っています。

「アレルギーがあって同じ食事を食べるのは難しいけど、自分もここに参加したい」と、お弁当を持って参加してくれている子もいます。

食堂をはじめて3年目。毎回新しく来てくれる子との出会いがあり、子どもたちが口コミで広げてくれているんだなと感じます。

子ども食堂の一覧はP26へ

仲間についてはP32へ

03 社会福祉施設を利用した子どもの夜の居場所 フリースペース

目的 「何かあったらここにおいで」地域の施設が子どもの居場所に！

地域のなかには、さまざまな事情から学校に行きにくくなっていたり、家庭の中に安らぎがなかったり、また子どもらしく大人に甘えることができなかつたりといった状況にある子どもたちがいます。こうしたさびしさやしんどさを抱えている子どもたちを見守ってくださる地域の方たち、関係機関の方たちからは、地域で子どもを支える場がもっとも必要という課題提起がありました。フリースペースは、24時間人がいて、あたたかいご飯があって、お風呂がある地域の社会福祉施設を拠点に、さびしさやしんどさを抱えている子どもが、安心して信頼できる大人とのびのび過ごせる夜の居場所です。スクールソーシャルワーカーや子ども・家庭にかかわる専門職等がフリースペースのつなぎ役となり、保護者や子ども

支援にかかわる関係機関と利用の調整を図ります。フリースペースにつながった子どもは、週に1回夕方から夜の時間を地域のボランティア等の大人と1対1の関わりの中で過ごします。ボランティアでは対応が難しく、個別的な関わりが必要な場合は、“子どもと関わるワーカー”が対応します。子どもの背景にある家庭の困りごとやボランティアの発掘、呼びかけは地元の社協や行政と連携するなど、困っている子どもを真ん中において、高齢や障害等の社会福祉施設、スクールソーシャルワーカー、地域のボランティア、社会福祉協議会、学校、教育・福祉行政等がひとつの運営チームをつくり実践しています。

実践

1. 新たなフリースペースの開設

昨年度から実施していた4市7施設に加え、新たに3施設(彦根市、栗東市、高島市)で開設されました。



フリースペースさざなみ(彦根市)
[特別養護老人ホームさざなみ苑]
平成29年5月スタート
毎週火曜 17:30~20:30
小学生1名が参加

〈協力団体等〉

- ・地域のボランティア(民生委員・児童委員、主任児童委員等)
- ・児童の通う小学校
- ・彦根市教育委員会事務局学校教育課学校支援室
- ・滋賀県子どもの居場所づくりコーディネーター(スクールソーシャルワーカー、教員OB)
- ・彦根市社会福祉協議会



フリースペースにじ(栗東市)
[特別養護老人ホーム栗東すみれ園]
平成29年7月スタート
毎週水曜 17:00~20:20
小学生3名が参加

〈協力団体等〉

- ・地域のボランティア(民生委員・児童委員、会社員、地元高校生等)
- ・児童の通う小学校
- ・栗東市子育て応援課
- ・栗東市社会福祉協議会



フリースペースゆったり(高島市)
[特別養護老人ホーム清風荘]
平成29年8月スタート
毎週水曜 17:30~20:30
小学生1名が参加

〈協力団体等〉

- ・障害者支援施設清湖園
- ・地域のボランティア(教員OB、民生委員・児童委員等)
- ・児童の通う小学校
- ・高島市教育委員会事務局学校教育課
- ・スクールソーシャルワーカー
- ・高島市社会福祉課
- ・高島市子ども家庭相談課
- ・高島市社会福祉協議会

<平成27年度・28年度から実施しているフリースペース>

施設名	開設	時間	参加者
①フリースペースカーサ (特別養護老人ホーム カーサ月の輪)	平成27年3月	毎週木曜 17:30~21:00	高校生1名、中学生1名、小学生1名
②フリースペースかなで (小規模多機能型居宅介護事業所 時間の奏)	平成27年7月	毎週金曜 17:00~20:00	小学生2名
③フリースペースせせらぎ (特別養護老人ホーム せせらぎ苑)	平成27年9月	毎週火曜 18:00~20:30	小学生3名
④フリースペースひこねふるさと (障害者支援施設 ふるさと)	平成28年2月	毎週水曜 18:00~20:30	小学生2名
⑤フリースペースアイリス (特別養護老人ホーム 近江舞子しょうぶ苑)	平成28年2月	毎週木曜 17:00~20:00	小学生2名
⑥フリースペースふじの里なごみの家 (特別養護老人ホーム ふじの里なごみの家)	平成28年4月	毎週水曜 17:30~20:45	中学生2名、小学生3名
⑦フリースペースさわのそよ風 (小規模多機能型居宅介護事業所 さわの風)	平成29年1月	毎週金曜 17:30~20:45	中学生4名、小学生3名

2. フリースペース交流会の開催

県内10ヶ所に広がるフリースペース。初めての交流会を開催したところ、実施施設の職員、子どもと関わるワーカー、市社協、スクールソーシャルワーカー等29名が参加。フリースペース誕生の経緯や大切にしていることを改めて確認し合ったあと、グループに分かれて情報交換を行いました。子どもとの関わり方や家庭の支援のこと、関係機関との連携のこと、ボランティアのひろげ方や思いの共有の仕方、施設内での職員の理解のことなど、さまざまな悩みや工夫を話し合いました。



開催日:11月6日(月) 参加者:29名(9施設・4社協)
~参加者の声~

- ・子どもとの関わり方など悩んでいる仲間がいることがわかって気持ちが楽になった
- ・他施設のフリースペースの状況を聞いて参考になった

episode

各フリースペースの関係者会議等での意見より

初めは子どもとの関わり方など不安なことが多かったです。今年度はじめて学校との話し合いの場を持つことができ、学校の先生と子どもたちの様子を共有できて、実践していることの大切さを確認できました。

引越してフリースペースに来られなくなった子が、高校の帰りに施設に立ち寄ってくれました。フリースペースの利用としては終了しても、そこで関係が途切れず、子どもが帰って来られる場になっていることがうれしく感じました。

来ている子どもが突然学校に行けなくなってしまい、フリースペースが家庭以外の唯一の居場所に。学校ではとがった姿を見せていても、フリースペースでは優しい顔をしてくれます。フリースペースでの話を学校の先生に伝えると、学校の姿と違ってびっくりされました。この場所では、肩ひじ張らずに、安心して素の自分を出せる場所なのだと感じました。

最初はフリースペースに来てもやんちゃばかりでなかなか落ち着いて話もできなかった子が、子どもと関わるワーカーやボランティアが丁寧に語り続ける中で、1年経った今では学校帰りに自転車に寄って学校の話などをしに来てくれるようになりました。高校生になってもボランティアで来たいと言ってくれて、すごく嬉しいです。

市内の子ども支援会議をきっかけに地域の方に協力していただけるようになり、子どもたちと一緒に琵琶湖に遊びに行くことができました。地域の方からいろんな遊びも教えてもらい、子どもたちも大喜び。いろんな経験をして、地域の良さを知ってもらえると良いなと思います。

来てもらいたい子に食物アレルギーがあることがわかりました。「おにぎりを持ってでも参加したい」という子どもの言葉を聞いた施設のみなさんが調理師の方を含めて相談して、毎週その日のメニューをアレルギー対応食に調整してくださることに。今では毎週あたたかいご飯をみんなで囲んで食べています。

縁・共生の場づくり

しくみづくり

ひとつづくり・つながりづくり

縁の仲間

04 県との公私協働事業 子どもたちの社会への架け橋づくり事業

目的 児童養護施設や里親のもとで暮らす子どもたちの自立を地域で応援！

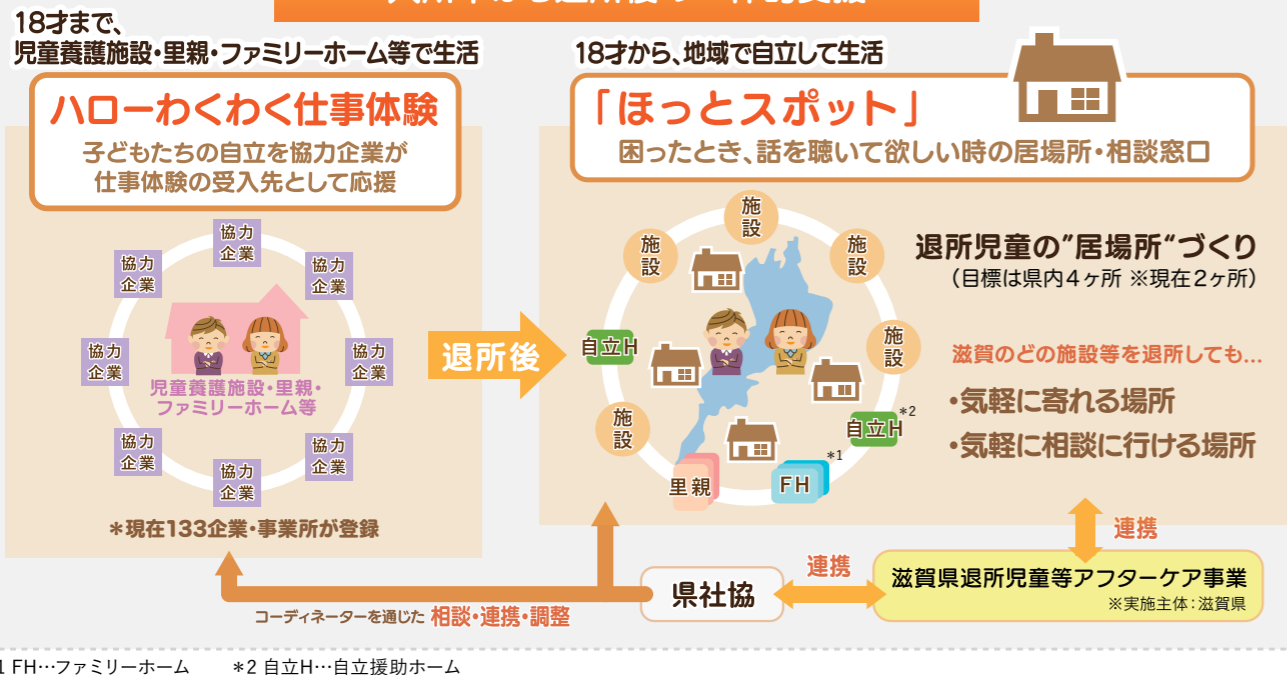
滋賀県では、約350人の子どもたちがさまざまな理由で親と一緒に暮らすことができず、施設や里親・ファミリーホームのもとで暮らしています。彼らは18歳で退所すると、容易に親に頼れない中、一人で自立して社会で生活していくことが迫られます。しかし、自立後は、就労してもすぐに仕事をやめてしまったり、同時に住む場所を失ってしまうこともあります。たったひとりで社会へ出て、普段の生活の中で仕事やお金のこと、病気のことなど様々な困りごとに直面し、うまく支援を求められないことから、人生に躓いてしまうことも少なくありません。これまでから展開していた、社会的養護の元で暮らしている中高生が自ら希望する企業のもとで就労体験を行い、ふりかえりをしながら自信をつけて職業観を育てていく「ハローわくわく仕事体験」は事前学習やセミナーの充実により、より深い体験を行うことができるようになってきました。さらに、平成29年度は、彼らが社会に出て、何か躓きそうになった時に気軽に立ち寄り相談できる居場所として「ほっとスポット」の取り組みが県内の2ヶ所でスタートしました。このように、子どもたちの社会への架け橋づくり事業では、



社会的養護のもとで暮らす子どもたちを滋賀全体で支えるしくみとして、入所中から退所後の一体的支援を目指しています。

社会的養護のもとで暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり

入所中から退所後の一体的支援



実践 1 どんな時でも安心して寄れる場所 =「ほっとスポット」がスタート

「ほっと」できる場所、「ホット」あたたかい場所。多様な人が安心して過ごしてほしいという願いからネーミングされました。この「ほっとスポット」は県内の児童養護施設、児童心理治療施設、里親、ファミリーホームから社会に出た若者であれば誰でも利用できます。また、在籍中でも利用できます。一人でほっこり過ごすもよし、若者同士で楽しい時間を過ごすもよし、施設の職員さんや里親さんと

一緒にでもかまいません。また、支援者の方だけでも利用できます。話を聞いてくれる大人がいる安心できる場所です。平成29年度は「ほっとスポットこぼと」(大津市/社会福祉法人小鳩会)、「ほっとスポット四つ葉カフェ」(守山市/認定特定非営利活動法人四つ葉のクローバー)の2ヶ所でスタートしました。



ほっとスポットこぼと

実施主体
社会福祉法人 小鳩会

場所
大津市錦織1丁目14-25

開設日時
毎週日曜日14時～18時
事前の相談で随時利用可能

特徴
・妊娠出産に関する相談
・障がいなどの困りごと相談
・一緒にクッキング など

問合せ
小鳩会本体 TEL:077-522-2785
小鳩会里親支援 TEL:077-525-0030
Mail:kobato-center@softbank.ne.jp

ほっとスポット四つ葉カフェ

実施主体
認定特定非営利活動法人 四つ葉のクローバー

場所
守山市守山2丁目15-25夢コートビル1階

開設日時
毎週水曜日12時～18時
事前の相談で随時利用可能

特徴
・仕事相談・支援
・餃子やドリンクの無料提供 など

問合せ
TEL:077-584-5688/080-6160-4280
Mail:yotubanokuroba2013@yahoo.co.jp

縁・共生の場づくり

しくみづくり

ひとづくり・つながりづくり

縁の仲間

2 ハローわくわく仕事体験

① 中高生の就労体験、小学生の工場・職場見学

平成29年度は50人の中高生が就労体験を行いました。事前に体験先の企業のことを調べたり、質問を考えたり、さらに終了後振り返りを行うことでとても充実した体験となりました。

また、小学生も37人が工場・職場見学を行い、中高生の就労体験に向けた、とても有意義なステップの場となりました。

そして、新たに就労体験を受け入れていただいた企業・事業所は12ヶ所、工場・職場見学を受け入れていただいた企業事業所も12ヶ所増えました。



中高生の就労体験延べ 120名
小学生の工場・職場見学延べ 59名

平成29年度新たに中高生の体験を受け入れていただいた企業・事業所 12ヶ所

No	企業名・事業所名(市・町)	主な体験内容
1	八身福祉会(東近江市)	部品組み立て、野菜水耕栽培
2	永興富士見保育園(大津市)	幼児の食事介助、排泄補助、着脱補助、遊び掃除
3	永興藤尾保育園(大津市)	保育補助、子どもたちと一緒に遊ぶ・食事・着脱の手伝い・昼寝の寝かしつけ
4	オーケーエム(日野町)	総務、経理における事務作業(書類整理、編冊、データ入力、清算業務、コピー)
5	フレックスコンピュータシステム(栗東市)	パソコンの整備作業
6	ワークステーションわかたけ(草津市)	パン・菓子の製造販売、菓子箱の組み立て、エアコン部品梱包・数量チェック
7	カーテックうかい(甲賀市)	車の軽整備(タイヤ交換・脱着、オイル交換等)検査場への同伴
8	まちおこし(守山市)	撮影補助、機材メンテナンス、ナレーション声優、CM編集、キグルミアクター
9	クプル・ピュセ(栗東市)	店内・調理場内の掃除、ケーキや焼き菓子等の包装、調理補助、販売補助
10	コーヒーハウス CODA(大津市)	開店準備、接客、サラダ・ケーキ作り
11	みつばち保育園(大津市)	保育補助、食事の世話、外遊びでの声掛け
12	渡辺工業(長浜市)	工場内のお手伝い

平成29年度新たに小学生の工場・職場見学を受け入れていただいた企業・事業所 12ヶ所

No	企業名・事業所名(市・町)	主な内容
1	島本微生物工業(甲賀市)	試験農場での収穫作業など農作業全般
2	ファットリアたけぼん(彦根市)	ハウス内掃除、イチゴの育苗・収穫・販売
3	さいとう助産院(竜王町)	妊婦教室・健診、育児支援の場へ同伴
4	びわ湖花街道(大津市)	お客様のお出迎え、お見送り、客室掃除
5	小鳩乳児院(大津市)	乳幼児との関わり
6	ウイングフルカワ(彦根市)	自転車・バイク修理の見学・お手伝い
7	村上整形外科クリニック(甲賀市)	看護師補助、その他
8	パレット(大津市)	洋菓子の包装、箱折り
9	まちおこし(守山市)	番組編集やアニメづくり、ドローン体験
10	ズイホウジュニアカフェ(彦根市)	昼食時間帯の接客の見学
11	エクレレ(東近江市)	商品の特徴について聞き、店舗・厨房見学
12	谷口工務店(竜王町)	新築現場で大工仕事の見学

② 協力企業や事業所の拡大

社会的養護の子どもたちについて理解いただき、就労体験、工場・職場見学を受け入れていただく協力企業への登録は昨年度より37社増え、133社となりました。

3 就労体験に向けたセミナーの開催

「ハローわくわく仕事体験」の参加に向けて、キャリアアップセミナーとプロフェッショナルセミナーを今年度も開催しました。参加人数も増え、このセミナーを契機に就労体験に参加する子どもも増えてきました。企業・事業所

の話を熱心にメモを取りながら聞く姿や、いきいきとした表情で積極的にプログラムに参加する姿が見られ、今年1年のセミナーをとらえて、子どもたちの成長を強く感じました。

キャリアアップセミナー

	日時	参加人数	場所
第1回	平成29年7月9日(日)	中高生30名	ウイングプラザ(栗東市)
第2回	平成29年12月3日(日)	小学生34名	特別養護老人ホームゆいの里(守山市)

プロフェッショナルセミナー

	日時	参加人数	場所
第1回	平成29年6月4日(日)	中高生37名	ピバシティ彦根
第2回	平成29年11月12日(日)	中高生25名	大津市勤労福祉センター
第3回	平成30年2月4日(日)	中高生31名	近江八幡市文化会館

★ PICK UP

第1回 キャリアアップセミナー

ビジネスシミュレーションゲーム
「いきいきゲーム」に挑戦!!



特定非営利活動法人ブリッジフォースマイルの永久理恵さん、サポーター4名をお招きして、参加した中高生が楽しみながら社会のしくみや仕事について学ぶ「いきいきゲーム」を行いました。どの子どもグループで役割分担を行い、他のグループともコミュニケーションをとりながら、いきいきとした表情で取り組むことが出来ました。普段関わる大人の期待を大きく上回る子どもたちの姿にびっくりさせられました。

★ PICK UP

第3回 プロフェッショナルセミナー

協力企業のプレゼンとブースでの懇談



過去最多の12社の企業に参加いただきました(他、見学1社)。冒頭の企業のプレゼンのあとは、子どもたちは自分が興味のある企業のブースに赴き、事前に考えてきた質問をしたり、熱心に話を聞いたりしました。恥ずかしそうにしながらも自らの足で各ブースに向かう姿が印象的でした。どの企業も熱心に子どもたちとお話しいただいたとともに、子どもたちの成長を感じられるセミナーとなりました。

episode

冬休み仕事体験 中高生より

自分は特にコミュニケーション能力、声の大きさ、わからないことははっきり聞くこと、失敗しても気持ちを切り替える、あいさつなどの経験を学んだと思います。自分の得意なこと、苦手なことを見つけるいい機会になりました。

第3回プロフェッショナルセミナー 企業より

子どもたちの積極性をすごく感じました!また、仕事体験の話を子どもたち同士でしているようで、他の子の話を聞いて興味を持ってくれた子どももいてとても嬉しかったです。

協力企業・事業所の
一覧についてはP27へ

仲間についてはP26へ

緑・共生の場づくり

しくみづくり

ひとづくり・つながりづくり

緑の仲間

05 ひきこもりがちな人と家族の支援

目的 **あたたかいまなざしのある地域づくりをめざして**

ひきこもりは、本人から相談があることは少なく、まわりからは気づきにくく、気づいても具体的な支援が見つからなかったり、本人に関わるタイミングが難しかったりと、なかなか支援につながらないのが現状です。そして、ご本人やご家族は誰にも相談できずに孤立していることも少なくありません。そこで、現行の福祉サービスだけでは届けられない支援を届けることを目的に、アウトリーチや居場所づくりを中心にすすめています。

なにより大切にしているのは、ひきこもりを本人や家族の中だけの課題とせず、地域の課題として考えること。ひきこもりがちな人を排除しないあたたかいまなざしのある地域づくりをめざし、取り組みを重ねています。

実践 **甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』**

ひきこもりがちな人やその家族を支援する甲賀モデル事業「甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』」は縁会員である社会福祉法人さわらび福祉会が主体となり、「誰もが大切にされる地域」を目指し、専門職だけでなく、地域住民からの協力を得て、様々な生きづらさを抱えた方へ歩み寄り、寄り添う支援を継続して行っています。圏域(甲賀市、湖南市)内で呼びかけ、チーム(運営会議)をつくり、取り組みをすすめています。運営会議には、両市の民児協、社協、行政、甲賀保健所が参画しています。

① 訪問支援(アウトリーチ)の実践

個別支援計画に基づいた訪問支援(アウトリーチ)を行います。自宅への訪問や同行支援により、ゆっくりと関係づくりをしていきます。本人の思いに寄り添いながら、次の一歩を一緒に考えていきます。

② 本人・家族の居場所(奏サロン)づくり

一人ひとりの希望や事情に合わせながら、自宅以外で安心して過ごせる場、自分のペースで物事に取り組むことができる場を大切にします。慣れてこれたら、みなさんで交流する機会も考えていきます。



▲甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』運営会議チーム

滋賀の縁創造実践センター

事務局: 滋賀県社会福祉協議会
ひきこもり等の支援小委員会



[モデル事業]

甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』

運営主体: 社会福祉法人さわらび福祉会



甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』運営会議

構成機関(順不同)

- 甲賀市民生委員児童委員協議会連合会・
- 湖南市民生委員児童委員協議会・
- 甲賀保健所・甲賀市生活支援課・
- 甲賀市障がい福祉課・
- 湖南市住民生活相談室・湖南市健康政策課・
- 湖南市社会福祉課・甲賀市社会福祉協議会・
- 湖南市社会福祉協議会・
- 滋賀の縁創造実践センター事務局・
- さわらび福祉会(事務局)

アウトリーチ・奏サロン部会

家族支援部会

地域啓発・交流部会

③ 家族交流・学習会の開催

家族同士の交流の機会や、各地で取り組まれている実践等を学び合う機会をもちます。

また、当事者家族としての立場だけではなく、ご家族自身も「私」でいられる場所づくりを考えていきます。

甲賀保健所・家族の会「きらら」、東近江保健所・家族の会「山ぶどうの会」の交流会・学習会

ご家族や関係者あわせて約14名が集いました。「ひきこもり当事者を支える家族のこころの持ち方」「当事者を支え続けるためにも、家庭以外に息抜きの場を持つべき」などのメッセージをみなさんと共有しました。

開催日時: 平成30年2月23日(木) 会場: 東近江保健所

④ 地域への啓発活動

ひきこもりがちな人の抱える課題や支援について福祉関係機関(者)だけでなく、市民の方に関心をもってもらえるよう、交流会や学習会などに取り組みます。

ピアサポート(当事者同士の支え合い)もすすめていきます。



甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』公開講座(実践報告会)

少し楽になった 少し未来が明るくなったをめざして

約200名が参加。この日は当事者と民生委員児童委員が登壇し、抱えていた苦しい気持ちやお互いへの想いを言葉にして交わしました。まなざしを送り、見守り続ける存在があると伝え続けること、少し楽になったと感じてもらえる明日をめざしてその人らしさに寄り添うことを確認しました。

開催日時: 平成29年12月6日(水) 場所: 甲南情報交流センター(忍の里プララ)



公開講座で来場者を明るく迎えた左のイラストは、奏サロンの利用者が「奏」をイメージして描かれたものです。「さまざまな音色(個性)と相談しやすいあたたかさのある場所」という思いが込められています。

⑤ 県域の交流活動

高島市内でひきこもり支援に取り組む、高島市つながり応援センターよろず「つながり応援支援者ネットワーク会議」の支援者が、甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』の活動に触れる機会として、交流会を実施。今後圏域を越えて連携しながら取り組みを進めていくことが決まりました。

開催日時: 平成30年1月30日(火)
会場: 高島市社会福祉協議会



episode

関係者会議より

個別性、閉鎖性の高くなりがちな個別支援のなかでも、誰かが支援を抱え込むことのないように支援者を支えることのできるシステムを構築していきたい。支援者に起きていることも自分のことのように気持ちを寄せて、職種を超えて支援者同士が支え合う必要がある。

報告会の参加者より

当事者の方のお話にとっても引き込まれました。このように話をされることで徐々に社会生活が広まっていくことと思います。地域では本人が安心できる対応や関わりが重要になってくるのだと考えるきっかけになりました。

縁・共生の場づくり

しくみづくり

ひとづくり・つながりづくり

縁の仲間

06 小さな働く場づくり 傍楽(はたらく)体験

目的 働きづらさをかかえている人の「働きたい」を応援!

「働く」ということはとても大事なことです。仕事をして成果をあげれば人の役に立っていると実感でき、収入を得ることで経済的な自立が得られます。これは人間にとって幸せの大きな要素です。しかし、一般就労を唯一のゴールとすると、それがかなわないために負目やストレスとなり大きな苦しみを背負う人もあります。さまざまな制度の中でいわゆる「就労支援」の事業は整備強化されつつありますが、障害者手帳がない人や経済的困窮状態にない人等、制度によるサービスの利用対象とならない人や、一般就労まで距離のある人、一般就労をゴールとしない(できない)人は既存の就労支援事業では対応が難しい現状があります。「傍楽体験」と名付けた小さな働く場は、制度での対応が難しい人たちにとって「家から出ていける場所」「社会



(誰か)とのつながりを感じられる場所」「働くことを体験し、少しでもその対価を得られる場所」となることをめざしています。県内のさまざまな地域・事業所と相談支援機関が連携協働して、事業所は「人の応援がほしい」業務を切り出し、相談支援機関を通してやってきた体験者は、その業務をやりとげることを通して人の役に立つ喜び、働いて報酬をもらう喜びを得るといふ、Win-Win(双方良し)の関係をつくっていく取り組みです。

実践 【高島市内で傍楽体験! / 社会福祉法人虹の会】、【滋賀県社協で傍楽体験! / 滋賀県社会福祉協議会】に引き続き、新たに3ヶ所の傍楽体験がスタートしました。

**【滋賀県介護福祉士会
で傍楽体験!】**
平成29年4月~2か月に1回実施
延べ24名が参加(平成30年2月末現在)
参加者: 県地域若者サポート
ステーションの相談者
作業内容: 発送作業

**【滋賀県社会福祉士会
で傍楽体験!】**
平成29年4月~1回実施
延べ57名が参加(平成30年2月末現在)
参加者: 県地域若者サポート
ステーションの相談者
作業内容: 発送作業

**【滋賀県介護支援専門員
連絡協議会で傍楽体験!】**
平成29年11月~2回実施
延べ11名が参加(平成30年2月末現在)
参加者: 県地域若者サポート
ステーションの相談者
作業内容: 発送作業

episode

利用者より
作業をスムーズに行うことができ、達成感がありました。他の方と一緒に作業することで、いろいろなやり方を見て学ぶことができ良かった。

2年間参加してきて、発送作業や他の人との関わりに慣れてきた気がします。これからは、自主的な行動が出来るようになっていきたいです。

参加して、人とコミュニケーションをもっととれるようになっていきたいと感じました。

相談支援機関職員より
傍楽体験は雰囲気も和やかで一人ひとりのありのままを受け入れていただけるので、「第一歩」の活動として紹介しやすいです。「自分はこんなことが得意なんやな」「これはちょっと苦手かも」等自分を知って次の一歩を見つめるきっかけになるほか、体験で出会う仲間同士の声の掛け合いも生まれています。

受け入れ事業所の職員より
初めは、場所にも人にも慣れずに緊張されていた方も、続ける中で少しずつ慣れて会話が盛り上がり、笑顔が見られたりすることも増えてきました。「働く」という生産性や効率ばかりが重視されがちですが、互いにつながりを感じることができ、自分の存在そのものを大切に感じられ、一緒に作業できる場になっていきたいと思っています。

07 医療的ケアの必要な重度障害児・者の入浴支援

目的 家族の重い負担なしに「湯ぶねでゆったり」を保障したい

医療的ケアを要する重度障害児・者の家族がもっとも負担感を持っているケアが入浴です。あったかいお湯につかってゆったりとし、体が清潔になるお風呂は、だれにとっても心地よいものですが、体の成長や変形、家族の体力の低下などにより自宅での入浴は困難になってきます。そこで福祉サービス利用となりますが、自宅での入浴が困難になると居宅介護や訪問看護を利用しても「湯ぶねでゆったり」はかないません。代替となる訪問入浴サービスも、利用回数が週2~3回までと自治体による制限があります。そこで、自宅外で家族の負担なくゆったりと入浴できるサービスをつくり、週1回でも入浴を増やしたいと考えました。ありがたいことに、機械浴の設備がある特別養護老人ホームや高齢者のデイサービスセンターから設備貸出の



申し出が次々とあり、身近な地域の高齢者施設のお風呂で障害のある人が入浴する方式が生まれました。現行の訪問看護サービスは居宅外への訪問は認められていませんが、看護師が社会生活の場で専門ケアを提供できる制度が整備されることをめざして、このモデル実践に取り組んでいます。また、身近な地域の高齢者施設等での週1回の入浴をとおして、地域の人とのつながりが豊かになることも大切にしています。

実践 訪問入浴事業所、通所事業所、訪問看護事業所、居宅介護事業所、そして入浴設備をもつ地域の高齢者施設の協力を得て、2つの方式でモデル事業を展開。9名の方が利用されています。

モデル事業A 【利用している通所事業所で訪問入浴】
4名(サービス提供は週1回)
①草津市 20歳男性 ②草津市 30歳女性
③湖南市 20歳男性 ④湖南市 24歳女性

モデル事業B 【自宅近隣の高齢者施設で入浴】
5名(サービス提供は週1回)
①大津市 25歳男性 (特別養護老人ホーム カーサ月の輪)
②東近江市 12歳女兒 (県看護協会在宅ケアセンター みのり)
③東近江市 9歳女兒 (同上)
④日野町 11歳女兒 (特別養護老人ホーム 誉の松)
⑤日野町 9歳男児 (特別養護老人ホーム 白寿荘)

地域共生型入浴サービスづくり研修会 9月27日開催、30名参加

高齢者施設での入浴において必要となる医療的ケアの内容、配慮すべき点等について共有させていただく機会として開催。障害者・高齢者施設職員や行政関係者等、約30名の参加がありました。

~参加者の声~
・豊かさを生むケアのひとつであり唯一の入浴支援だからこそ、その子を取り巻く支援者が前向きに取り組んでおられることがうれしく感じた。(障害者施設職員)
・お風呂に入るという当たり前のことが難しい方々にとって少しでも当たり前になるようにという取り組みにとっても感動した。(高齢者施設職員)
・現在、話を進めているところです。我々高齢者ケアをしている職員にとっても、違った福祉分野のことについて学べる機会になるので、お互いが協力し、当事者の方にとってより良い暮らしができればと考えます。(高齢者施設職員)

episode



右から、ヘルパーの倉岡知基さん、真野海翔くん(小5)、白寿荘の植西高幹副社長、海翔くんの妹さん

特養白寿荘でも入浴がスタート 白寿荘副社長 植西高幹さんより
夕方は空いているので、気持ちよく使ってもらえたらうれしいです。施設に子どもさんが来てくれることになって癒されています。



ボランティアグループ「ほほえみ会」鈴木厚子さん

手を握ったり、声をかけたり。地域の方が入浴をお手伝い!! ボランティア 鈴木厚子さんより
ご両親にも毎日のご苦労であろう入浴を、少しでもお手伝いさせてもらいたくて。かわいくて元気を頂けるんですよ。

仲間についてはP28へ

08 えにしの日(3.11)・えにし週間

目的 災害時に生き抜く力を高める

滋賀の縁創造実践センター、滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議*、県社会福祉協議会および県は、東日本大震災が発生した3月11日を県民一人ひとりが災害時に命を守るのは日頃からの地域のつながりであり、支え合えるコミュニティがいかに大切であるかを考え、話し合い、心に刻む日にしたいとの思いから、この日を「えにしの日」と定め、えにしの日を含む1週間を「えにし週間」としました。

「えにしの日」には、県内各地でさまざまな団体が、災害時に支援を必要とする人の側に立った訓練や研修を行い、行政の防災計画や避難所運営マニュアルなどを検証し、見直しを提案していきます。これは、一方通行ではない本当に有効な防災の取り組みをつくっていくためのアクションです。

【実施期間】

えにしの日(3月11日)前後の概ね1週間

【主唱】

滋賀の縁創造実践センター
滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議
滋賀県社会福祉協議会
滋賀県

【取り組み内容】

ユーザー(災害時に困難を抱える人)側の視点で行政の防災計画等を再確認、検証する訓練や研修の実施

[平成29年度の重点取り組み]

- ① 避難所・福祉避難所の訓練・学習会、マニュアル等の検証
- ② 災害時支援が必要な人の当事者団体が実施する訓練・学習会

*滋賀県災害時要配慮者支援ネットワーク会議とは

災害時における、県域、広域(福祉圏域)、市町域での要配慮者の避難および避難生活について関係者が連携により支援できるように、平常時から県域の支援者および当事者が連携し、協議を行うことで、災害時要配慮者支援対策を推進することを目的として、平成26年3月に設立。現在、73団体が構成しています。



▲老人ホームながはまによる、福祉避難所運営マニュアル検証訓練



▲肢体障害者の会「みずのわ」による学習会



▲せんだん保育園による避難訓練

実践

平成29年度「えにしの日」・「えにし週間」取り組み一覧(2018年3月29日現在)

(福)…社会福祉法人、(特非)…特定非営利活動法人、(公社)…公益社団法人

圏域	団体名	実施事業	実施日
1 湖北	(福) グロー 老人ホームながはま	福祉避難所運営マニュアル検証訓練	3/4(日)
2 湖南	滋賀県肢体障害者の会「みずのわ」	災害支援の実態調査に向けた学習会	3/4(日)
3 甲賀	(特非) 鍼灸地域支援ネット	視覚障害者等支援者(鍼灸師・マッサージ師)の災害対応の学習会	3/4(日)
4 湖南	滋賀県自閉症協会	発達障害児者の災害支援をテーマとした学習会	3/5(月)
5 湖東	(福) 滋賀県視覚障害者福祉協会	視覚障害者の避難訓練	3/7(水)
6 東近江	東近江市立さくらんぼ幼児園	避難訓練(火災想定)	3/8(木)
7 大津	(福) 幸寿会 特別養護老人ホームカーサ月の輪	災害時対応シミュレーション訓練	3/9(金)
8 湖南	(福) 栗東市社会福祉協議会	災害支援をテーマとした学習会	3/9(金)
9 甲賀	新旭子ども食堂	非常食体験	3/10(土)
10 甲賀	(福) 甲賀市社会福祉協議会	避難体験シミュレーション	3/10(土)
11 大津	(福) 石光山会 新石山寺保育園	メールによる安否確認訓練	3/11(日)
12 高島	(福) 虹の会	避難所運営ゲーム・避難所体験	3/12(月)
13 大津	(福) せんだん二葉会 せんだん保育園	避難訓練	3/13(火)
14 高島	(特非) 子育て・子育てサポート きらきらクラブ	避難訓練	3/14(水)
15 湖南	滋賀県立むれやま荘	当事者の消防訓練(避難訓練 通報訓練 消火訓練など)	3/15(木)
16 甲賀	(福) 甲賀市社会福祉協議会	福祉避難所をテーマとした学習会・福祉避難所運営マニュアル検証	3/17(土)
17 湖東	(福) 彦根市社会福祉協議会	災害支援をテーマとした学習会	3/17(土)
18 大津	(公社) 滋賀県手をつなぐ育成会	知的障害児者の災害支援を考える学習会	3/23(金)
19 湖南	(福) 栗東市社会福祉協議会 ゆうあい子どもカレー★食堂	災害支援をテーマとした学習会	3/23(金)
20 大津	(福) 真盛園 おいわか子ども食堂	非常食体験・防災グッズづくり	3/28(水)

episode

【老人ホームながはま】
(福祉避難所運営2年目を終えて)
地域住民より

要配慮者役として数年後の自分と重ね合わせ、非常に有意義であった。「このようなときはこうするのか」と実体験で考えることができた。

施設職員より

訓練を重ねることでいざというときもあせらずスムーズに対応を図れると思われ、その必要性を再確認できた。また、2回の訓練を受けて市の防災計画の中で「福祉避難所」の運営について新たなマニュアル作成に挑まれることになった。

【新旭子ども食堂】非常食体験
施設職員より

食堂に参加した子どもたちと地震のメカニズムについて学び、「大きな地震が起きたらどうしたらよいのだろうか?」と一緒に考えたあと、非常食として乾パンチョコクランチ作り挑戦しました。

【滋賀県自閉症協会】

発達障害児者の災害支援をテーマとした学習会 当事者家族より
実際に被災地に入られて支援された方の講演で災害時の対応の大変さを実感できてよかったです。実際に災害が起こって避難が必要となった場合に自分の子どもたちが避難所に入れるとはとても思えないし、入れたとしても走り回る等してしまうと思われるので、少しでも周囲の理解を得られるよう、普段からの地域とのつながりが必要であることが分かりました。

【(福)甲賀市社会福祉協議会】
福祉避難所運営 参加者より

制度・仕組み、現場の課題を講義していただいて、すぐに市協運営の福祉避難所のマニュアルを検証して課題を明らかにし、それに対しての先生の助言を共有する流れでわかりやすく、活発な議論ができてよかったです。

【新石山寺保育園】
保護者各世帯、職員への安否確認訓練
施設職員より

災害が起こったと仮定して、保護者各世帯、職員への安否確認訓練を実施。スマホの機種によっては返事できない等の事態が起こることもわかったので、非常時の連絡先について改めて確認することにしました。日時を東日本大震災の日に設定したことで意識を高くもつことができた。

縁・共生の場づくり

しくみづくり

ひとづくり・つながりづくり

縁の仲間

09 多職種連携のチームづくりを学ぶ 滋賀の縁塾

目的 困っている人を真ん中において、あらゆる分野の専門職が学び合う

多様な専門職の連携が求められる中で、県内の医療・福祉職の支援機関や、ケアの現場で働く人たちに共通して求められる力を高めることを目的に開催しました。縁センターがめざす滋賀の福祉の在りかたへの理解を深めながら、どのようにすれば困っている人を真ん中におきながら多職種連携を実現していくことができるのかについて、演習を通じてトレーニングをしていくプログラムです。それぞれの地域から挙がってきた事例を使用し、他人事ではなく、自分の地域で起こっていることを意識しながらも、それぞれの立場から出てくる意見を受け止めて、オープンに聴いたり話したりすることの大切さを学びます。



実践 「今」そして「15年前」に思いを馳せ、「15年後」をも見据えた支援を

縁塾
この研修は、事例検討を交えながら自他のポジショニングの認識や問題解決ではなく問題設定することの意義への理解を深めること等を目的としています。今年度は県内4会場で開催し、高齢、障害、児童、病院のソーシャルワーカーや行政職員といった幅広い支援関係者約130名が参加。検討事例の「現在」抱える課題だけでなく「15年前」にも思いを馳せ、さらに「15年後」も見据えた支援の在り方について話し合いました。

- 【講師】**
- 同志社大学 社会学部 教授
滋賀の縁創造実践センター 副代表理事
上野谷 加代子 先生
 - 同志社大学 社会学部 准教授
野村 裕美 先生

座談会
平成26～28年度の縁塾参加者と同志社大学の野村裕美先生、南友二郎先生と共に、過去の縁塾の成果や今後、縁塾に求めることについて振り返りを行いながら議論を深めました。

縁塾スペシャル版
これまでの積み重ねを、より実践に生かすため「話し方、伝える力」にしばった演習プログラムを取り入れた研修を実施しました。高齢、障害、児童、病院のソーシャルワーカーや行政職員といった幅広い支援関係者40名が参加し、自分を語ること、人を巻き込む力を培う機会となりました。



episode

参加者アンケートより(抜粋)
普段は自分が支援しているケースワークに焦点を当てているために、多職種連携や国の制度の動向について考えることが十分ではありませんでしたが、考えるきっかけとなりました。

「支援者は解決プロセスだけに目がいきがち」という言葉にはっとした。職業柄、期間内にある程度問題解決が求められるので、日々この状態になっていた。この言葉を意識して、視野を広げ、ものの見方・捉え方を変えるということを今後業務に取り入れていきたい。

10 多職種連携のチームづくりを学ぶ 事例検討多職種サロン

目的 多職種が理解し合い交流する場
今年度は「継続」をテーマに

支援者が抱える困難事例等を題材とした事例検討をとおして、新たな学びや気づきを得るとともに、仲間づくりを促進することを目的としています。「事例検討会」というと事例提供者が負担を感じたり、進行の方法がわからないため、二の足を踏みがちですが、事例検討多職種サロンの取り組みでは、各地域に社会福祉士が赴き、こうした負担感の軽減をお手伝いし、出来るだけ身近なところで事例検討会を行えるようにしています。取り組みの初年度である28年度はサロンの「拡大」を目指していましたが、2年目となる平成29年度は「継続」を



テーマとしました。昨年同様、現地に出向き目的や課題に応じた結果、5,6名の小さなサロンから20数名の大人数でのサロンまで多様な形で合計9回開催されました。どの場でも、単に事例を解決するのみならず、多職種の理解や支援者間で交流する場となりました。

実践 9回のサロンを開催しました

各回のテーマ	参加者
1 「判断能力に課題のある60歳前後の兄弟の支援」	草津市・守山市・栗東市・野洲市社協の地域福祉権利擁護事業担当者、相談支援担当者(9名)
2 「養育環境に課題がある学童の事例」	米原市社協の学童保育の主任、ソーシャルワーカー(6名)
3 「発達障害などが疑われる子どもたちの支援について」	米原市社協の学童保育の主任、ソーシャルワーカー(6名)
4 「発達障害のある一人暮らし女性の支援について」	草津市・守山市・栗東市・野洲市社協の地域福祉権利擁護事業担当者、相談支援担当者(9名)
5 「地域福祉権利擁護事業を利用する高齢親子の支援」	草津市・守山市・栗東市・野洲市社協の地域福祉権利擁護事業担当者、相談支援担当者(9名)
6 「支援を拒否している事例」	草津市・守山市・栗東市・野洲市社協の地域福祉権利擁護事業担当者、相談支援担当者(7名)
7 「認知症が疑われる高齢者の生活支援について」 介護支援専門員交流会として開催	介護支援専門員、社会福祉士、保健師、市職員、生活支援コーディネーター(25名)
8 「セルフネグレクトの方の支援について」 市内相談担当者研修会として開催 アドバイザー:おうみ後見ネット 社会福祉士 村田オ二さん	介護支援専門員、社会福祉士、保健師、市職員、介護職員、権利擁護事業担当者(25名)
9 「支援に繋がらない高齢親子の支援について」	介護支援専門員、障害者支援相談員、地域福祉権利擁護事業担当者、相談支援担当者等(5名)

episode

参加者アンケートより(抜粋)
定期的、年に何回かこうした場があると良い。
本人の気持ちの変化をしっかりと確認しながら、方法も変えていくことを大切にしたい。

たくさんの目で考えることで、多方面の介入の糸口が見つけれられた。自己覚知にもなる。
考えたこと感じたことが自由に発言できました。グループで楽しかったです。想像する力がつきました。

事例検討をして、ケアマネさんの大切さや地域住民とともに考えていくことの大切さや、専門職同士のつながりもこの機会改めて感じることができました。ありがとうございます。

縁・共生の場づくり
しくみづくり
ひとりづくり・つながりづくり
縁の仲間

11 福こい♡縁結び

目的 “縁”があるから出会える人がいる～
独身男女の縁結び

支援する人が幸せであることを大切に♡

人の暮らしにまなざしをむけ、困りごとに寄り添いながら福祉職場で働く人々。より良い支援を続けていくためには、職員一人ひとりが幸せであることが大切な基盤となります。縁結び・つながりづくり小委員会では県内の社会福祉施設や事業所の独身職員を対象とした出会いの場づくりを通して、職員の公私にわたる幸せづくり、さらには仕事への意欲向上と地域活性化を図ります。



実践 和やかな雰囲気の中で、明るく
スムーズなコミュニケーションを応援

「福こい♡縁結び」では、福祉職員の仲間に仕事を離れた場での仲間との出会いを少しでも楽しいひとときにしてもらいたいとの思いから、和やかな雰囲気づくりを心がけ、手作りのクイズやゲームを取り入れています。また、松尾やよい氏(夢こらぼ主宰)によるコミュニケーションセミナーを実施。出会いの場はもちろん、仕事でも日常でも活かすことのできる内容で、わかりやすく元気になれると、好評を博しています。



「秋こい♡まちや縁結び」

町屋の趣を楽しむ“まちや歩き”やペアで挑む“写メ大会”を通して親睦を深めました。男性14名、女性12名から過去最高となる6組のカップルが誕生♡終了後も男女問わず会話が弾みました。

日時:平成29年9月18日(祝・月)
会場:近江八幡まちや倶楽部等(近江八幡市)



episode

参加者より
和風の感じが落ち着いて、趣があっていいなと思いました(20代女性)

松尾先生のコミュニケーションアドバイスは名言がたくさんで、とてもためになりました!(30代男性)

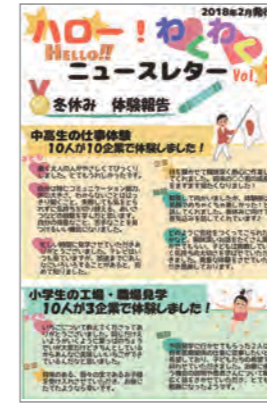
こちらのイベントがご縁でお付き合いが始まり、約2年が過ぎました。(20代女性)

仲間についてはP39へ

12 広報活動

縁センターの取り組みは、さらに豊かで広がりのある実践となるように随時進捗状況を下記によりお知らせしています。ぜひ手にとってご覧ください!

ニュースレター・情報誌



えにし通信

年4回発行!フルカラーの地域づくりマガジン



vol.10
「えにしの日」
～この子らを世の光に
の今日的実践～



vol.11
モデル事業の取り組み
から見る福祉の仕事
新たな実践のスタイル



vol.12
子どもたちの社会への
架け橋づくり
「ほっとスポット」



vol.13
地域とともに～
甲賀・湖南ひきこもり支援
『奏-かなで-』運営会議

ホームページ

<http://www.shiga-enishi.jp>

facebook

<http://www.facebook.com/shiganoenishi>

その他



ほっとスポット
啓発冊子等



遊べる・学べる
淡海子ども食堂を
はじめてみよう! 冊子



ふく楽cafe～縁～
メッセージ集

縁・共生の場づくり

しくみづくり

ひとりづくり・つながりづくり

縁の仲間

13 縁の志を共有し実践する仲間

P04-05 01 滋賀の縁認証事業

認証委員会

藤本 武司	滋賀県健康医療福祉部 部長
市川 忠稔	滋賀県健康福祉政策課 課長
丸山 英明	滋賀県障害福祉課 課長
大岡 紳浩	滋賀県子ども・青少年局 副局長
岡野 和薫	滋賀県医療福祉推進課 課長
桐畑 弘嗣	滋賀の縁創造実践センター 副代表理事

崎山 美智子	滋賀県手をつなぐ育成会 理事長 ／滋賀の縁創造実践センター 理事
小林 江里子	滋賀県民生委員児童委員協議会連合会 副会長
山田 容	龍谷大学社会学部 准教授 ／滋賀の縁創造実践センター 理事
奥山 光一	滋賀県社会福祉協議会 常務理事・事務局長
渡邊 光春	滋賀県社会福祉協議会 会長

認証プロジェクトチーム

竹元 豊一	滋賀県医療福祉推進課 参事
清水 仁	滋賀県障害福祉課 主幹
川副 馨	滋賀県子ども・青少年局 副参事
海老根 剛	滋賀県健康福祉政策課 課長補佐

安澤 郁子	滋賀県健康福祉政策課 主査
藤林 祐子	滋賀県社会福祉協議会 ／滋賀の縁創造実践センター 副所長
高橋 宏和	滋賀県社会福祉協議会 ／滋賀の縁創造実践センター 副所長

P06-09 02 遊べる・学べる淡海子ども食堂

遊べる・学べる淡海子ども食堂 プロジェクトチーム

中村 静代	米原市社会福祉協議会 事務局長
安武 邦治	社会福祉法人グロー 法人本部 経営管理部 人事課 課長
田中 麻衣	社会福祉法人グロー 法人本部 経営管理部 人事課 主事
杉本 良子	滋賀県民生委員児童委員協議会連合会 理事

小倉 稀唯子	社会福祉法人真盛園 地域交流センター 老いも若きも コーディネーター
西川 利政	高島市社会福祉協議会 コミュニティワーカー
本間 由樹	栗東市社会福祉協議会 業務主任
井上 千紗登	湖南市社会福祉協議会 主事
今里 美香	大津市社会福祉協議会 主事
幸重 忠孝	こどもソーシャルワークセンター 代表
福島 功	滋賀県子ども・青少年局 副主幹

P10-11 03 社会福祉施設を利用した子どもの夜の居場所 フリースペース

居場所づくり小委員会

日比 晴久	特別養護老人ホームカーサ月の輪 施設長
安武 邦治	社会福祉法人グロー 法人本部 経営管理部 人事課 課長
海老根 剛	滋賀県健康福祉政策課 課長補佐
田中 雄一	米原市社会福祉協議会 地域福祉課長
澤 和記	特別養護老人ホームふじの里 なごみの家 施設長

中沼 孝博	グループホームみなくち 施設長
吉田 京子	特別養護老人ホームけやきの杜 介護支援専門員
遠藤 貴美代	笠縫東こども園
崎山 美智子	滋賀県手をつなぐ育成会 理事長
丸山 英明	滋賀県障害福祉課 課長
久門 一郎	滋賀県医療福祉推進課介護保険室 主幹

P12-15 04 県との公私協働事業 子どもたちの社会への架け橋づくり事業

要養護児童の自立支援小委員会

山本 朝美	滋賀県児童福祉入所施設協議会 理事
川副 馨	滋賀県健康医療福祉部子ども・青少年局 副参事
梅村 杏奈	滋賀県健康医療福祉部子ども・青少年局 主事
武村 薫	滋賀県里親連合会 副会長
遠城 孝幸	認定特定非営利活動法人四つ葉のクローバー 自立援助ホーム シェアハウス・夢コート アフターケアコーディネーター
破瀬 勝	児童心理治療施設 さざなみ学園 次長
佐藤 章	社会福祉法人大津市社会福祉協議会 次長
佐藤 桃子	同志社大学 特別研究員
久保 宏子	アドバイザー

ハローわくわく仕事体験推進委員会

山本 朝美	こばと子ども家庭支援センター 乳児院 小鳩乳児院 施設長
藤本 邦子	児童養護施設 小鳩の家 養育係長
大江 道子	こばと子ども家庭支援センター 里親訪問支援員
五十嵐 仁美	児童養護施設 守山学園 主任支援員
牧田 愛	児童養護施設 湘南学園 主幹
石田 一樹	児童養護施設 鹿深の家 主任
大前 裕美子	児童心理治療施設 さざなみ学園 ケアワーカー
遠城 孝幸	自立援助ホーム シェアハウス・夢コート アフターケア コーディネーター
廣田 敬史	自立援助ホーム BiTS-Unit 代表

ハローわくわく仕事体験 協力企業・事業所133社 (平成30年3月14日現在)

所在地	企業・事業所名
大津	1 (株)村田自動車工業所
	2 (福)せんだん二葉会 せんだん保育園
	3 (株)国華荘びわ湖花街道
	4 (株)ピアライフ
	5 ニューワズ(株)
	6 (株)古川与助商店
	7 (有)ロング
	8 (株)六匠
	9 滋賀双葉ビル整備(株)
	10 (福)真盛園 小規模多機能型居宅介護事業所「良の家」
	11 (福)幸寿会 (特養)カーサ月の輪
	12 (福)大津市社会福祉事業団 (特養)榛原の里
	13 (福)楽樹 (特養・デイサービス)湖の花
	14 (福)美輪湖の家大津
	15 (福)小鳩会 小鳩乳児院
	16 (福)大津ひかり福祉会 ひかり保育園
	17 (株)小寺製作所
	18 琵琶湖乗馬倶楽部
	19 (福)禅心福祉会 永興藤尾保育園
	20 (福)禅心福祉会 永興富士見保育園
	21 (福)慈光福祉会 グレイスー里山保育園
	22 (福)慈光福祉会 おおがや愛保育園
	23 (福)好和会 みつばち保育園
	24 (福)春風会 わかば保育園
	25 (福)大津ひかり福祉会 大将軍ひかり保育園
	26 (福)新緑会 みどりこども園
	27 (株)パレット(洋菓子)
	28 コーヒーハウスCODA
	29 魚重産業(株)
	30 アロマ整体院 あるまりえ
彦根	31 ウイングフルカワ
	32 (福)近江ふるさと会 (特養)近江第二ふるさと園
	33 (有)アップU彦根
	34 カズテック(株) 滋賀製造部
	35 ファットリアたけぼん
	36 ズイホウ ジュニア カフェ
	37 ビーチェック日夏店(後三条店・長浜店も可)
	38 (株)ワークプランファクトリー
	39 松尾バルブ工業(株)
	40 (株)ケレスたなか
長浜	41 (福)まんてん (地域密着型特養)まんてん塩津
	42 (福)まんてん グループホームまんてん塩津
	43 (福)まんてん まんてん小谷
	44 (福)グロー (特養)ふくら
	45 (福)達真会 (特養)けやきの杜
	46 (株)渡辺工業
	47 (株)クローバー
	48 (株)シノダ工務店
	49 (福)青祥会 (特養)アンタレス
	50 (福)青祥会 (特養)青浄苑
	51 (福)青祥会 介護老人保健施設 長浜メディケアセンター
	52 (福)青祥会 (特養)青芳
	53 (福)公悠会 しらやま保育園
	54 (株)お米の家倉
近江八幡	55 (株)安土建築工房
	56 前出産業(株)
	57 (福)ほのぼの会 グループホームしのだ(願)
	58 (株)和たと
	59 (福)一善舎 (特養)赤煉瓦の郷
	60 (株)日吉
草津	61 (福)鶴翼会 ひむれ乳児保育所
	62 (株)アサノ
	63 (福)みのり (特養)ぼぶら・なみき
	64 (株)江州
	65 (株)エッセン
	66 (株)リネージュ
	67 (福)モンチ優愛会 くさつ優愛保育園モンチ
	68 (福)若竹会 ワークステーションわかたけ Bakery&Cafeわかたけ
	69 (有)山脇パネ製作所

所在地	企業・事業所名	
守山	70 (株)カロカ急配	
	71 (福)慈恵会 (特養)ゆいの里	
	72 (福)あけぼの会 はすねだこども園	
	73 (有)富綜	
	74 (有)アイ・エス・エム	
	75 (株)まちおこし(アミンチュプロジェクト)	
	76 (株)滋賀フーズ	
	栗東	77 (株)びわ湖マイル
		78 (株)エフアイ
		79 きれいや プラスワン
80 (株)フレックスコンピュータシステム		
甲賀	81 (株)井倉 クブル・ピュセ(洋菓子)	
	82 (福)あいの土山福祉会 (特養)エーデル土山	
	83 (福)甲南会 (特養)せせらぎ苑	
	84 (有)カーテックウカイ	
	85 (株)ティグ水口	
	86 日本ロジック(株)	
	87 島本微生物工業(株)	
	88 医療法人社団 村上整形外科クリニック	
	89 公立甲賀病院	
	野洲	90 (特非)陽だまり
91 (福)野洲慈恵会 (特養)悠紀の里		
92 東洋産業(株)		
93 アオキエージェンシー(株)		
湖南	94 (福)近江和順会 (特養)ヴィラ十二坊、小規模特養「百伝の杜」	
	95 (福)近江ちいろば会 ケアハウス ビスガこうせい	
	96 (株)大槻シール印刷 滋賀工場	
	97 (特非)就労ネットワーク滋賀 しあわせ作業所	
高島	98 (福)ゆたか会 さわの風	
	99 (福)ゆたか会 (特養)清風荘	
100 清水牧場		
東近江	101 (有)山田保険事務所	
	102 (株)ブライウッド・オウミ	
	103 宮川パネ工業(株)	
	104 (株)三省堂	
	105 (福)八身福祉会	
	106 (有)伊徳織物整理工場	
	107 メリーボエム洋菓子店	
	108 (株)小杉自工	
	109 (福)日野友愛会 (特養)沖野原	
	110 (株)楠亀工務店	
米原	111 (有)田邊工務店	
	112 (福)グロー 養護老人ホーム きぬがさ	
	113 エクレレ(洋菓子)	
	114 (株)ワオナス	
	115 力興木材工業(株)	
	116 (福)青祥会 介護老人保健施設 坂田メディケアセンター	
日野	117 (福)青祥会 デイサービスセンター やまびこ	
	118 (有)伴自動車	
	119 (株)オーケーエム	
	120 (株)大鋼製作所	
	121 さいとう助産院	
	122 (株)木の家専門店 谷口工務店	
愛荘	123 滋賀建機(株)	
	124 酒正(株)	
	125 (福)青祥会 デイサービスセンター やまびこ	
	126 磁気整体院 元張屋(がんばりや)	
豊郷	127 油藤商事(株)	
	128 (福)湖東会 (特養)いぬかみ	
多賀	129 (福)達真会 多賀清流の里	
	130 (福)湖東会 盲養護老人ホーム 星光の里	
	131 (福)湖東会 小規模多機能型居住介護 ファミリーステーション多賀	
	132 (福)湖東会 グループホーム ハートフル	
	133 (福)湖東会 ハートフルデイサービスセンター	

縁・共生の場づくり

しくみづくり

ひとつづくり・つながりづくり

縁の仲間

P16-17 05 ひきこもりがちな人と家族の支援

ひきこもり等の支援小委員会

金子 秀明	社会福祉法人さわらび福祉会 常務理事
北出 篤嗣	社会福祉法人さわらび福祉会 主任相談支援員
平井 昭代	滋賀県健康医療福祉部障害福祉課 主幹
野々村 光子	東近江圏域働き・暮らし応援センター“Tekito-” センター長
松本 道也	社会福祉法人高島市社会福祉協議会 ふくしのまちづくり推進課 生活支援グループ 係長
片山 あかり	社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 地域福祉コーディネーター
神門 浩	特定非営利活動法人草津市中心身障害児者連絡協議会 センター長
藤支 有理	精神保健福祉センター 主査

甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』運営会議

金子 秀明	社会福祉法人さわらび福祉会 常務理事
北出 篤嗣	社会福祉法人さわらび福祉会 主任相談支援員
野中 梓	甲賀保健所 主任保健師
富岡 正義	甲賀市民生委員児童委員協議会 会長
谷口 優	湖南市民生委員児童委員協議会 会長
湯次 耕大	甲賀市社会福祉協議会 相談支援課 課長
大谷 喜久	甲賀市社会福祉協議会 信楽地域福祉活動センター長
奥野 修司	湖南市社会福祉協議会 生活福祉課 課長
保井 純子	甲賀市生活支援課 課長
大西 裕紀子	甲賀市障がい福祉課 係長
斉藤 輝子	湖南市市民生活相談室 室長補佐
若林 友美	湖南市健康政策課 主幹
山崎 秀樹	社会福祉法人さわらび福祉会 甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』事務局長
澤 慰子	社会福祉法人さわらび福祉会 このゆびとまれ 副所長

P18 06 小さな働く場づくり 傍楽(はたらく)体験

働きづらさを抱えた人の働く場づくり小委員会 企画員

城 貴志	特定非営利活動法人滋賀県社会就労事業振興センター 常務理事・センター長
眞弓 洋一	東近江市社会福祉協議会 在宅福祉課長
橋本 文男	湖北地域しょうがい者相談センターほっとステーション センター長
杉本 学士	社会福祉法人虹の会 法人事務局
森野 実知子	滋賀県労働雇用政策課 参事
山崎 晴美	大津市社会福祉協議会 主事
朽木 弘寿	滋賀県地域若者サポートステーション 総括コーディネーター
中塚 英嗣	野洲市社会福祉協議会 主任

協力団体等

滋賀県地域若者サポートステーション、あすくる高島、就労準備支援ホップ、障がい者相談支援センターコンパス、滋賀県社会就労事業振興センター、社会福祉法人虹の会、滋賀県介護福祉士会、滋賀県社会福祉士会、滋賀県介護支援専門員連絡協議会、滋賀県社会福祉協議会

P19 07 医療的ケアの必要な重度障害児・者の入浴支援モデル事業

制度の横だし・運用改善小委員会

中島 秀夫	滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長
角野 めぐみ	医療福祉・在宅看取り地域創造会議
中村 恭子	滋賀県医療福祉推進課 副参事
石澤 英明	彦愛犬地域障害者生活支援センターステップアップ21 次長
廣瀬 由希	社会福祉法人青い鳥会 彦根学園 相談支援員
小林 千鶴	社会福祉法人くすのき会 相談支援事業所くすのき 相談支援専門員
増野 隼人	社会福祉法人びわこ学園 重症児者相談支援センターびわりん 相談支援専門員
平井 真紀	社会福祉法人真寿会 特別養護老人ホーム能登川園 施設福祉課長
山口 俊	びわこ学園 重症心身障害者通園事業所ピアーズ サービス管理責任者
谷 佳代	滋賀県社会福祉協議会 福祉用具センター 副課長
村井 真理子	社会福祉法人びわこ学園 滋賀県重症心身障害者 ケアマネジメント支援事業 事業企画課長

県内の協力施設 平成30年3月末現在 34施設

【大津市】介護老人福祉施設リパブル、特別養護老人ホーム福寿荘、特別養護老人ホームカーサ月の輪、真盛園デイサービスセンター、特別養護老人ホーム真盛園	【甲賀市】特別養護老人ホーム甲賀荘、せせらぎ苑デイサービスセンター
【彦根市】特別養護老人ホームさざなみ苑、彦根市社協南デサービスセンター、彦根市社協北デサービスセンター	【野洲市】デイセンターさくら
【長浜市】特別養護老人ホームふくら、伊香の里デサービスセンター、特別養護老人ホーム伊香の里、グループホームまんでん塩津、特別養護老人ホームまんでん塩津、まごころホームまんでん小谷、特別養護老人ホームけやきの杜	【湖南市】特別養護老人ホームあぼし
【近江八幡市】特別養護老人ホーム水茎の里	【高島市】高島市社協きらり新旭、高島市社協きらり今津北
【草津市】特別養護老人ホーム風和里	【東近江市】特別養護老人ホーム沖野原、在宅ケアセンターみのり、特別養護老人ホーム能登川園
【守山市】特別養護老人ホームゆいの里	【米原市】デサービスセンター愛らんど、デサービスセンターゆめホール、西部デサービスセンターきらめき
	【日野町】老人ホームさつき荘、特別養護老人ホーム誉の松、特別養護老人ホーム白寿荘
	【豊郷町】ステップアップ21

P22 09 多職種連携のチームづくりを学ぶ 滋賀の縁塾

講師

上野谷 加代子	同志社大学社会学部 教授
野村 裕美	同志社大学社会学部 准教授

P23 10 多職種連携のチームづくりを学ぶ 事例検討多職種サロン

近藤 真由子	滋賀県社会福祉士会
--------	-----------

P24 11 福こい♡縁結び

縁結び・つながりづくり小委員会

小島 健史	守山市社会福祉協議会 地域支援課長
口村 淳	特別養護老人ホーム淡海荘 介護課長
桑山 信彰	滋賀県市町社協職員連絡協議会 幹事(甲賀市社会福祉協議会)
増野 隼人	社会福祉法人びわこ学園 相談支援センターびわりん 相談支援専門員
田中 麻衣	社会福祉法人グロー 主事
吉弘 弥生	社会福祉法人鶴翼会 ひむれ乳児保育所 所長

仲間たち

松尾やよい(夢こらぼ主宰)、近江八幡まちや倶楽部、たねや

縁・共生の場づくり

しくみづくり

ひとりづくり・つながりづくり

縁の仲間

理事名簿

	氏名	所属・職名等
代表理事	前阪 良憲	滋賀県老人福祉施設協議会 会長
	渡邊 光春	滋賀県社会福祉協議会 会長
副代表理事	桐畑 弘嗣	滋賀県市町社会福祉協議会会長会 前会長(大津市社会福祉協議会 顧問)
	中西 健	一般社団法人滋賀県保育協議会 会長
	上野谷 加代子	同志社大学大学院 教授
理事	堤 洋三	滋賀県老人福祉施設協議会 副会長
	山本 朝美	滋賀県児童福祉入所施設協議会 理事
	呉屋 之保	滋賀県民生委員児童委員協議会連合会 会長
	中川 英男	公益社団法人滋賀県社会福祉士会 会長
	崎山 美智子	公益社団法人滋賀県手をつなぐ育成会 理事長
	畑下 嘉之	社会福祉法人青祥会 理事長
	田井中 俊彦	一般財団法人滋賀県民間社会福祉事業職員共済会 常務理事・事務局長
	上田 清樹	滋賀県社会福祉法人経営者協議会 副会長
	山田 容	龍谷大学社会学部 准教授
監事	圓城 治男	滋賀県市町社会福祉協議会会長会 (彦根市社会福祉協議会 会長)
	藤居 眞	滋賀県老人福祉施設協議会 副会長

企画員名簿

圏域	分野等の区分	企画員名	所属・職名等	
県域	地域福祉	中村 静代	米原市社会福祉協議会 事務局長	
	医療福祉	角野 めぐみ	医療福祉・在宅看取り地域創造会議	
	障害者福祉	中島 秀夫	滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長	
	障害者福祉	金子 秀明	社会福祉法人さわらび福祉会 常務理事	
	障害者福祉	澤 慰子	社会福祉法人さわらび福祉会 このゆびとまれ 副所長	
	障害者福祉	北出 篤嗣	社会福祉法人さわらび福祉会 主任相談支援員	
	障害者福祉	城 貴志	特定非営利活動法人滋賀県社会就労事業振興センター 常務理事	
	高齢者福祉	安武 邦治	社会福祉法人グロー 法人本部 経営管理部 人事課 課長	
	高齢者福祉	田中 麻衣	社会福祉法人グロー 法人本部 主事	
	子ども・青少年	山本 朝美	滋賀県児童福祉入所施設協議会 理事	
	子ども・青少年	遠城 孝幸	特定非営利活動法人四つ葉のクローバー	
	子ども・青少年	破瀬 勝	社会福祉法人さざなみ学園 次長	
	子ども・青少年	武村 薫	滋賀県里親連合会 副会長	
	地域福祉	桑山 信彰	滋賀県市町社協職員連絡協議会 幹事	
	地域福祉	海老根 剛	滋賀県健康福祉政策課 課長補佐	
	医療福祉	中村 恭子	滋賀県医療福祉推進課 副参事	
	医療福祉	久門 一郎	滋賀県医療福祉推進課 主幹	
	障害者福祉	平井 昭代	滋賀県障害福祉課 主幹	
	障害者福祉	橋本 隆也	滋賀県障害福祉課 参事	
	子ども・青少年	川副 馨	滋賀県子ども・青少年局 副参事	
	子ども・青少年	梅村 杏奈	滋賀県子ども・青少年局 主事	
	子ども・青少年	福島 功	滋賀県子ども・青少年局 副主幹	
	教育	奥村 公英	滋賀県教育委員会事務局幼小中教育課 生徒指導・いじめ対策支援室 参事(室長)	
	労働雇用	森野 実知子	滋賀県労働雇用政策課 参事・就業支援室長	
	若者	朽木 弘寿	滋賀県地域若者サポートステーション 総括コーディネーター	
	障害者福祉	山口 俊	社会福祉法人びわこ学園重症心身障害者通園事業所ピアーズ サービス管理責任者	
	障害者福祉	神門 浩	特定非営利活動法人草津市中心身障害児者連絡協議会	
	医療福祉	藤支 有理	滋賀県立精神保健福祉センター	
	大津	地域福祉	佐藤 章	大津市社会福祉協議会 次長
		地域福祉	内田 大	大津市社会福祉協議会 地域支援グループ主事
		地域福祉	山崎 晴美	大津市社会福祉協議会 地域支援グループ主事
		地域福祉	今里 美香	大津市社会福祉協議会 地域支援グループ主事
高齢者福祉		日比 晴久	特別養護老人ホーム カーサ月の輪 施設長	
子ども・青少年		伊藤 洋子	社会福祉法人禅心福祉会 永興藤尾保育園 園長	

圏域	分野等の区分	企画員名	所属・職名等
湖南	地域福祉	小島 健史	守山市社会福祉協議会 地域支援課長
	地域福祉	本間 由樹	栗東市社会福祉協議会 地域福祉課 業務主任
	地域福祉	中塚 英嗣	野洲市社会福祉協議会 福祉企画課 主任
	高齢者福祉	口村 淳	特別養護老人ホーム淡海荘 介護課長
	障害者福祉	太田 珠美	守山・栗東障害者相談支援センターみらいく 所長
	障害者福祉	増野 隼人	びわこ学園重症児者相談支援センターびわりん 相談支援専門員
	子ども・青少年	樋口 弘子	社会福祉法人モンチ優愛会 くさつ優愛保育園モンチ 園長
甲賀	地域福祉	湯次 耕大	甲賀市社会福祉協議会 相談支援課 課長
	地域福祉	大谷 喜久	甲賀市社会福祉協議会 甲賀地域福祉活動センター長
	高齢者福祉	中沼 孝博	グループホームみなくち 施設長
	障害者福祉	豊島 左智男	一般社団法人水口病院 地域連携室長補佐
	子ども・青少年	松清 節子	湖南市立阿星保育園 園長
東近江	地域福祉	眞弓 洋一	東近江市社会福祉協議会 在宅福祉課長
	高齢者福祉	平井 真紀	特別養護老人ホーム能登川園 施設福祉課長
	障害者福祉	野々村 光子	東近江圏域 働き・暮らし応援センター"Tekito-"センター長
	障害者福祉	小林 千鶴	東近江重症心身障害者通園第2くすのき 相談支援専門員
	子ども・青少年	吉弘 弥生	社会福祉法人鶴翼会 ひむれ乳児保育所 所長
湖東	地域福祉	森 恵生	彦根市社会福祉協議会 地域福祉課 課長
	高齢者福祉	森田 由美	社会福祉法人近江ふるさと会 障害者支援施設「ふるさと」所長
	障害者福祉	石澤 英明	彦愛犬地域障害者生活支援センターステップアップ21 次長
	障害者福祉	廣瀬 由希	彦根学園 相談支援員
	子ども・青少年	奥村 晃子	甲良町立甲良第二保育園 園長
湖北	地域福祉	山岡 伸次	長浜市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉コーディネーター
	地域福祉	片山 あかり	長浜市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉コーディネーター
	地域福祉	田中 雄一	米原市社会福祉協議会 地域福祉課長
	高齢者福祉	吉田 京子	特別養護老人ホームけやきの杜 介護支援専門員
	障害者福祉	橋本 文男	湖北地域しょうがい者相談センターほっとステーション センター長
	子ども・青少年	杉山 佐登美	社会福祉法人公悠会 しらやま保育園 園長
	高島	地域福祉	河野 みゆき
地域福祉	松本 道也	高島市社会福祉協議会 ふくしのまちづくり推進課生活支援グループ 係長	
高齢者福祉	澤 和記	特別養護老人ホーム ふじの里なごみの家 施設長	
障害者福祉	杉本 学士	社会福祉法人虹の会 事務局	
子ども・青少年	岸田 美子	高島市立マキノ東こども園 園長	

推進員名簿

圏域	社協名	推進員名	所属・職名等
大津	大津市社協	佐藤 章	事務局次長
	大津市社協	内田 大	地域支援グループ 主事
	大津市社協	山崎 晴美	自立支援グループ 主事
	大津市社協	今里 美香	地域支援グループ 主事
湖南	守山市社協	小島 健史	地域支援課 課長
	栗東市社協	山中 忍恵	地域福祉課 課長
	野洲市社協	木村 恵理	福祉企画課 専門員
甲賀	甲賀市社協	湯次 耕大	相談支援課 課長
	湖南市社協	奥野 修司	生活福祉課 課長
東近江	近江八幡市社協	重野 弘樹	地域福祉課 課長
	東近江市社協	眞弓 洋一	在宅福祉課 課長
	日野町社協	武重 英樹	地域福祉課 主査
	竜王町社協	伊藤 哲治	地域福祉推進員
湖東	彦根市社協	森 恵生	地域福祉課 課長
	愛荘町社協	岡村 敦史	地域福祉課 係長
	豊郷町社協	清水 一平	係長
	甲良町社協	西村 一真	主任主事
多賀町社協	安藤 典子	事務局長	
	湖北	米原市社協	村山 善信
長浜市社協	杉山 好和	地域福祉課 課長	
高島	高島市社協	杉島 隆	ふくしのまちづくり推進課 地域支援グループ 係長

縁 共生の場づくり

しくみづくり

ひとづくり・つながりづくり

縁の仲間

滋賀の縁認証事業 認証・奨励を受けた団体の皆さん

滋賀の縁認証事業 認証団体名簿

No	認証団体	年度
1	地域交流センター 老いも若きも	平成27年度
2	マキノ地区ボランティアセンター	平成27年度
	今津地区ボランティアセンター	平成27年度
	朽木地区ボランティアセンター	平成27年度
	安曇川地区ボランティアセンター	平成27年度
	高島地区ボランティアセンター	平成27年度
3	特定非営利活動法人もの忘れカフェの仲間たち	平成27年度
4	移動商店街 ぎょうれつ本舗	平成27年度
5	社会福祉法人びわこ学園	平成28年度
6	社会福祉法人グロー サービスセンターれがーと	平成28年度
7	社会福祉法人グロー ポーダレスアートミュージアム NO-MA	平成28年度
8	社会福祉法人共生シンフォニー	平成28年度
9	株式会社なんてん共働サービス	平成28年度
10	大野木長寿村まちづくり会社	平成28年度
11	レイカディア大学同窓会・レイカディア大学サポート隊	平成28年度
12	淡海フィナンソロビーネット	平成28年度
13	滋賀県自助具製作グループ連絡協議会	平成28年度
14	認定特定非営利活動法人あさがお	平成29年度
15	認定特定非営利活動法人四つ葉のクローバー	平成29年度
16	特定非営利活動法人CASN	平成29年度
17	社会福祉法人あすなろ福祉会	平成29年度

滋賀の縁認証事業 奨励団体名簿

No	奨励団体	年度
1	地域交流センター「ななまがり」	平成27年度
2	男性介護者のつどい「中北の家」	平成27年度
3	山中比叡平学区社会福祉協議会	平成28年度
4	八日市に冒険遊び場をつくる会	平成28年度
5	特定非営利活動法人宅老所 心	平成28年度
6	枝折おたすけ隊	平成28年度
7	特定非営利活動法人ふれあいセンター「そよ風」	平成29年度
8	特定非営利活動法人どろんこ	平成29年度
9	特定非営利活動法人あめんど	平成29年度
10	認定特定非営利活動法人大津夜まわりの会	平成29年度
11	特定非営利活動法人Links	平成29年度
12	特定非営利活動法人元気な仲間	平成29年度
13	特定非営利活動法人つどい	平成29年度
14	近江八幡「おやじ連」	平成29年度
15	たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なまず」	平成29年度

子ども食堂一覧

No	食堂名	実施団体	市町
1	ながはま こども食堂	社会福祉法人グロー	長浜市
2	おいわか子ども食堂「おいで屋」	社会福祉法人真盛園 地域交流センター 老いも若きも	大津市
3	子ども食堂平野学区のぞみ	平野学区母子福祉のぞみ会	大津市
4	晴嵐 みんなの食堂	特定非営利活動法人CASN	大津市
5	ゆうあい子どもカレー★食堂	社会福祉法人栗東市社会福祉協議会	栗東市
6	地域交流スペース かりん	特定非営利活動法人スペースウィン	守山市
7	ふたば・あすなろ食堂	ふたば・あすなろ学級保護者会	野洲市
8	にぎわい広場	石部南学区まちづくり協議会	湖南市
9	おひさまくらぶ	長浜おやこ劇場おひさまくらぶ	長浜市
10	わかっ 子ども食堂	任意団体 わかっ	米原市
11	湖北子ども食堂「Liaison(リエゾン)」	任意団体 リエゾン	米原市
12	ピースこども食堂	特定非営利活動法人スーブル	日野町
13	むさっ子食堂	むさっ子食堂運営委員会	近江八幡市
14	おおのぎ子ども食堂	一般社団法人大野木長寿村まちづくり会	米原市
15	こどもの居場所「まんま」	北郷里子どもの居場所つくりの会	長浜市
16	八日市おかえり食堂	おてんとさん	東近江市
17	しらゆり子ども食堂	チームしらゆりボランティアの会	大津市
18	子ども食堂R北尾	子ども食堂R北尾	栗東市
19	かめのこ 子ども食堂	特定非営利活動法人Links	彦根市
20	子どもたちの学習支援と居場所づくりinのぞみ食堂	社会福祉法人滋賀県母子福祉のぞみ会	滋賀県
21	出合い食堂♡よっといで♡	若葉町自治会・ピアンネ	大津市
22	日野こども食堂 ひまわりカフェ	日野こども食堂	日野町
23	はちまん 子ども食堂	八幡学区社会福祉協議会	近江八幡市
24	だんらんの家 子ども食堂	有限会社管材技研だんらんの家	草津市
25	寺子屋食堂	一般社団法人こそだてがめっちゃたのしくなる会	日野町
26	多文化子ども食堂	多文化共生支援センター	草津市
27	のぞみ子ども食堂	彦根市母子福祉のぞみ会	彦根市
28	キッズカフェ・エンジェライト	子育てHappyエンジェライト	大津市
29	さわやま♡子どもほっとランチ	さわやま♡ほっとライン	彦根市
30	田上っ子食堂	田上学区青少年育成学区民会議	大津市
31	こども食堂「元気っ子広場」	食育ながはま元気っ子の会	長浜市
32	スエばあちゃん食堂	スエばあちゃん食堂	近江八幡市
33	日吉台 こども食堂	日吉台学区社会福祉協議会	大津市
34	ほのちゃん食堂	社会福祉法人ほのぼの会	近江八幡市
35	かんちゃんホットルーム	ホットフィールド子ども・若者支援ヒューマンネット かんちゃんの小さな家	近江八幡市
36	子ども食堂ひまわり	ひまわり	守山市
37	ビハーラ子ども食堂	ビハーラ彦根	彦根市
38	子ども食堂ひがしっこ	吉身東町自治会	守山市
39	「夢の学習」料理教室	地域で創る土曜日「夢の学習」推進委員会	甲賀市
40	のびっこ子ども食堂「いしでら」	特定非営利活動法人のびっこクラブ	彦根市
41	きのもと子ども食堂	きのもと子ども食堂	長浜市
42	きりっ子食堂(桐原小学校)	きりっ子食堂運営委員会	近江八幡市
43	栗東BBS子ども食堂	栗東市BBS会	栗東市
44	にじの家サロンこども食堂&寺子屋	しが健康医療生活協同組合	栗東市
45	かしわざ「わいわい食堂」	柏木地区地域福祉協議会	甲賀市
46	子ども食堂 ぱっぱ屋	冒険遊び場小松プレーパークをつくる会	大津市
47	ぜげこども食堂	ぜげこども食堂運営委員会	大津市
48	膳所子どもカレー食堂	ZeZeまなびや	大津市
49	ちゅうずこども食堂	ちゅうずこども食堂実行委員会	野洲市
50	きりっこ食堂(桐原小学校)	きりっこ食堂運営委員会	近江八幡市
51	子ども食堂「てるてるぼうず」	てるてるぼうず	甲賀市
52	たんぼぼ食堂	伴谷たんぼぼの会	甲賀市
53	あやの子ども食堂	綾野自治振興会(綾野学区まちづくり協議会)	甲賀市
54	アモーレ子ども食堂	アモーレ子ども食堂	甲賀市

縁・共生の場づくり

しくみづくり

ひとりづくり・つながりづくり

縁の仲間

No	食堂名	実施団体	市町
55	柏原子ども食堂	社会福祉法人柏葉会 柏原保育園	米原市
56	とよくに子ども食堂	とよくに子ども食堂	愛荘町
57	島川ふれあい広場	島川ふれあい広場	愛荘町
58	子ども食堂 あじと	子ども食堂 あじと	東近江市
59	花明かり食堂	花明かり食堂	栗東市
60	子どもカフェ あおぞら	子どもカフェ あおぞら	東近江市
61	eatalk	こどもソーシャルワークセンター	大津市
62	かたばみ食堂	堅田の子を見守る《かたばみ》の会	大津市
63	みんなの食堂「おほりばた」	特定非営利活動法人ねこ塾	近江八幡市
64	KIDSレストラン 虹	KIDSレストラン虹ボランティア運営委員会	米原市
65	和田子ども食堂	和田保護者会	野洲市
66	坂本民主食堂	しが健康友の会	大津市
67	美崎つくし	美崎つくし	守山市
68	宇宙庵	そば宇宙	守山市
69	あじさい食堂	特定非営利活動法人こもれ日小田莉家	東近江市
70	かみてるこども広場	神照地区地域づくり協議会	長浜市
71	長浜まちなか子ども食堂	長浜地区地域づくり連合会	長浜市
72	ぶくぶく食堂	甲良町子ども食堂実行委員会	甲良町
73	百円食堂	鴨川平自治会	高島市
74	西山子ども食堂 あかね	西山ボランティアグループあかね	竜王町
75	e-場所～あなたの良い場所・居場所	部落解放同盟彦根支部	彦根市
76	わつなぎ食堂	わつなぎの会	高島市
77	新旭子ども食堂	新旭住民福祉協議会	高島市
78	ひよっこ食堂	ひよっこ	米原市
79	楽しい放課後 心	特定非営利活動法人宅老所心	草津市
80	おそと食堂あじっこごはん	任意団体 あじっこ	米原市
81	こがも食堂	一般社団法人がもう夢工房	東近江市
82	子ども食堂スマイルシード	スマイルシード	滋賀県
83	西出こども食堂	西出こども食堂	愛荘町
84	「夢の学習」料理教室 信楽	地域で創る土曜日「夢の学習」信楽	甲賀市
85	「夢の学習」料理教室 甲南	地域で創る土曜日「夢の学習」甲南	甲賀市
86	菩提寺「すすく食堂」	菩提寺まちづくり協議会	湖南市
87	安曇川ふれあい子ども食堂	安曇川住民福祉ネットワーク	高島市
88	豊かな郷子ども食堂	豊かな郷子ども食堂	豊郷町
89	りんりんJBC食堂	りんりんチョボラ	竜王町
90	(仮称)てんびんの里みなみ	社会福祉法人グロー、社会福祉法人六心会	近江八幡市
91	宇川みんなのはなまる食堂	宇川みんなのはなまる食堂	甲賀市
92	smile door	smile door	甲賀市
93	カフェ和(わか)おかげSUNのとが和	おかげSUNのとが和	東近江市
94	ふらっと ふれあい食堂	ふらっと ふれあい食堂	守山市
95	今浜ハッピーレストラン	今浜自治会	守山市

滋賀の縁創造実践センター これまでのえにし活動実践マップ

縁・共生の場づくり

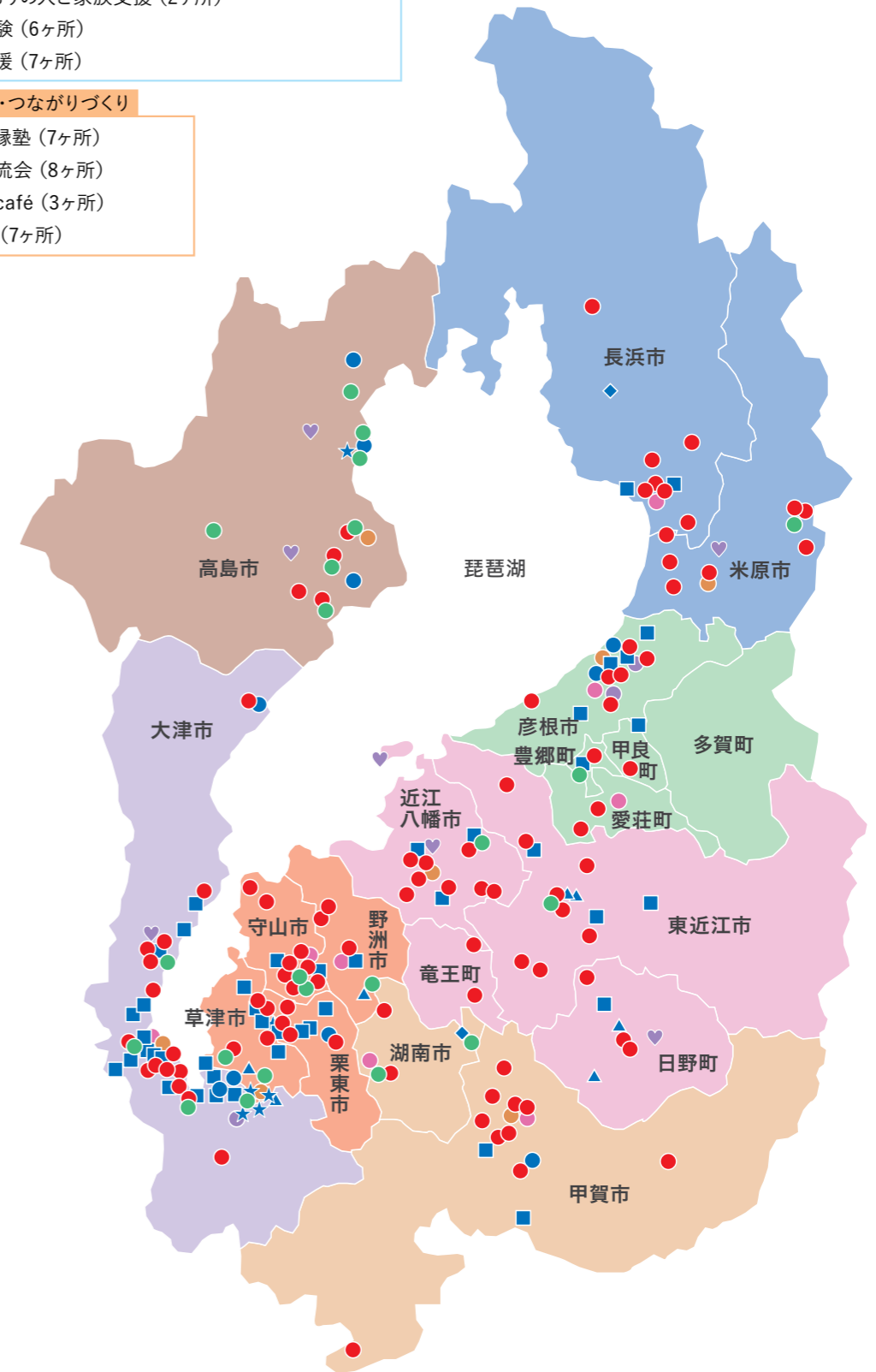
- 滋賀の縁 認証事業 認証団体 (17団体22ヶ所)
- 遊べる・学べる淡海子ども食堂 (95ヶ所)

しくみづくり

- フリースペース (10ヶ所)
- ハローわくわく仕事体験 実施企業・事業所 (45ヶ所)
- ◆ ひきこもりの人と家族支援 (2ヶ所)
- ★ 傍聴体験 (6ヶ所)
- ▲ 入浴支援 (7ヶ所)

ひとづくり・つながりづくり

- 滋賀の縁塾 (7ヶ所)
- 圏域交流会 (8ヶ所)
- ふく・楽café (3ヶ所)
- ♥ 縁結び (7ヶ所)



縁・共生の場づくり
しくみづくり
ひとづくり・つながりづくり
縁の仲間

縁 5年間の目標と実践

平成30年3月31日 現在
(縁センター設立:平成26年9月1日)

1 縁・共生の場づくり (概ね小学校区に一つ)

284ヶ所
300ヶ所

- ① 縁認証 22ヶ所 (17団体)
- ② 縁奨励 15ヶ所 (15団体)
- ③ 淡海子ども食堂 95ヶ所
- ④ フリースペース 10ヶ所
(社会福祉施設を利用した子どもの夜の居場所)
- ⑤ 中高年障害者の休日の居場所 1ヶ所
- ⑥ ひきこもりがちな人と家族の居場所 1ヶ所
- ⑦ 傍楽体験の場 5ヶ所
- ⑧ ほっとスポット 2ヶ所
(施設退所後の若者のための居場所)
- ⑨ ハローわくわく仕事体験の場 133社

2 課題解決のための ネットワークづくり (概ね福祉事務所単位)

15ヶ所
15ヶ所

全圏域でネットワークづくりの取り組み実施中

3 制度だけで解決できない 課題解決のための モデル事業の企画と実施

29事業
15事業

- ① フリースペース(10)
特養型8ヶ所、小規模多機能型1ヶ所、
障害者施設型1ヶ所
- ② 高齢者施設を活用した中高年障害者の
休日の居場所(1)
- ③ 児童養護施設等で暮らす子どもたちの
社会への架け橋づくり(6)
- ④ ひきこもりがちな人と家族の支援(2)
○甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』
○家族と支援者交流学習会
- ⑤ 働きづらさを抱える人の働く場づくり
「傍楽体験」(5)
- ⑥ 医療的ケアを要する重度障害者の
入浴支援事業(5)

4 国、県、市町への施策提案

20提案
20提案

29年度の提案等

- ◆子ども食堂を下支えする応援団としての
フードバンク的仕組みづくりの検討
→「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」の創設(8月)
- ◆「生きづらさを抱える人」が差別や偏見を感じた
事例に関する調査
 - ① 認知症の人と家族の会
 - ② ひきこもりの人と家族
 - ③ 社会的養護で育つ子ども・若者
- ◆要養護児童の退所後支援の強化
枠にとらわれないサポート活動「ほっとスポット」
を活用したトータルな退所後支援の推進

5 縁・支え合いの県民運動 福祉のボランティア体験 をする人

8,535人
10,000人

- ① 県ボランティアセンター・ボランティア
体験事業 3,000人
- ② 遊べる・学べる淡海子ども食堂ボランティア
1,800人
- ③ フリースペースのボランティア 150人
- ④ ハローわくわく仕事体験のセミナーや
受け入れへの協力者 285人
- ⑤ レイカディアえにしの会 100人
- ⑥ レイカディア大学サポート隊 200人
- ⑦ レイカディア大学ボランティアの日 800人
- ⑧ 災害ボランティア 300人
- ⑨ 「えにしの日」への参加
H28:12団体700人 + H29:20団体1,200人

<凡例>

実績
目標

左の図は各項目ごとの
目標と実績を数値で表しています。
数値を囲む円は達成度を示しています。

共生社会をめざす条例制定に向けた「生きづらさ」の実態把握

平成29年10月、滋賀県社会福祉協議会と縁センター
では、「生きづらさ」の実態を把握するために、「生きづ
らさ」を抱えた人やその家族、その支援者から、人とし
ての尊厳を傷つけられたり、差別的な対応を受けた事
例を収集しました。関係の方々のご協力によりいただ
いた大切な事例の中から一部を紹介します。

地域のなかで住民同士が、「生きづらさ」を抱えた人のこと
を自分ごととして向き合っている社会、「そういう人生」が
あっていいということを周りが認めてくれる社会、自身が
SOSを発信することが苦手な人たちを支えるシステムがあ
る社会。当事者の方たちからの声が、県として共生の地域づ
くりを発信・啓発しようという条例につながればと願います。

認知症の人やその家族からの声(認知症の人と家族の会滋賀県支部)

「認知症ってかなわんな。あんな病気になりとうない
な。」と言われた。

「認知症になったら楽やね。何もわからへんし、なっ
たもん勝ちやね。」という話をよく聞く。

認知症になってもできることがあるのに、最初から
「何もできない人」という色眼鏡で見られる。

認知症の家族のことを近所の人に知られると差別が
あるので、目が離せなくて困っている。

精神障害者やひきこもりがちな人と家族からの声(社会福祉法人さわらび福祉会)

アパートの紹介を受けるとき、精神障害者の人はダメ
と断られた。

統合失調症の姉が、妹から「お姉さんは父の葬式に
出ないでほしい」と言われた。夫の身内に精神障害
者がいると言っていないとの理由で。

ひきこもりの生活になってから、父親から「これから
どうするんや。なまけて。体はどうもないやないか。」
と怒られてばかりだった。働きたくないわけではない。
面接の前夜は緊張で眠れず、当日は体が痛くなる。
サロンに出かけると遊んでばかりといわれる。なまけ
ているとしか見られない。

必死に面接に行き、内定をもらった店の店長にひ
きこもりのことを話したら、内定を取り消された。
「長男のお前がしっかりしろ。部屋に閉じこもってな
にしてんねん。」と会う人ごとに説教をされた。なまけ
ものとしか見られない。お金がなくなっても何の支援
も受けられない。

社会的養護が必要な子どもとその支援者からの声(滋賀県児童福祉施設協議会)

「そんな施設があるから親が甘えて預けるんや」と
言われた。

施設を出てすぐにガソリンスタンドで働いたが、社
員から「やっぱり施設育ちやな」と言われ、ショック
を受けてその後の就労先では施設にいたことを言わ
ないようにしている。

中学校、高校に進学した際、地域の子どもから「施設」
「くさい」などの差別的発言を受け、不登校になっ
てしまった。

虐待等で目には見えない心や体の傷つきの記憶や、
そこから来る発達のゆがみに対して理解が得られにく
く「施設で育ったから」という理由で批判される。

18歳で施設を対処しても経済的自立ができないため、
次のステップに踏み出せず、結局つぶれてしまう子ど
もをたくさん見てきている。

滋賀の縁創造実践センター 平成29年度の歩み

平成
29
年

4月13日	社会福祉士会で傍聴体験スタート
4月20日	介護福祉士会で傍聴体験スタート
4月25日	平成29年度総会、つながり・ひろげる縁フォーラム2017開催 えにし白書2016発行
5月16日	「フリースペースさざなみ」スタート
5月18日	第1弾子ども食堂開設準備講座(湖東)
5月25日	正副代表理事会にて「遊べる・学べる淡海子ども食堂」モデル事業に4団体が採択
6月4日	第1回プロフェッショナルセミナー開催
7月7日	縁塾座談会実施
7月9日	第1回キャリアアップセミナー開催
7月18日	第1回「遊べる・学べる淡海子ども食堂」実践者研修会開催 正副代表理事会にて「遊べる・学べる淡海子ども食堂」モデル事業に7団体が採択
7月19日	「フリースペースにじ」スタート
7月29日	第2弾子ども食堂開設準備講座(高島)
8月2日	滋賀の縁塾(彦根会場)
8月3日	滋賀の縁塾(高島会場) 第3弾子ども食堂開設準備講座(甲賀)
8月26日	「フリースペースゆったり」スタート
8月31日	リニューアルした「えにし通信」vol.11発行
9月1日	「ほっとスポットこぼと」「ほっとスポット四つ葉カフェ」スタート
9月6日	滋賀の縁塾(大津会場)
9月12日	正副代表理事会にて「遊べる・学べる淡海子ども食堂」モデル事業に1団体が採択
9月18日	「秋こい♡まちや縁結び」開催
9月20日	第4弾子ども食堂開設準備講座(湖北)
9月27日	地域共生型入浴サービスづくり研修会開催
10月4日	第2回「遊べる・学べる淡海子ども食堂」実践者研修会開催
10月12日	滋賀の縁塾(湖南会場)
10月18日	5年間の活動期間後のあり方についての意向調査実施
10月31日	第3回滋賀県社会福祉大会にて 滋賀の縁認証事業 4団体に認証プレート、9団体に奨励プレート贈呈
11月6日	フリースペース交流会
11月12日	第2回プロフェッショナルセミナー開催
11月20日	市町村協子ども食堂支援者研修会(地域福祉・ボランティア担当者研修会)開催
11月24日	滋賀の縁認証事業 認証式 正副代表理事会にて「遊べる・学べる淡海子ども食堂」モデル事業に8団体が採択
11月29日	第5弾子ども食堂開設準備講座(大津) 介護支援専門員連絡協議会で傍聴体験スタート
11月30日	「えにし通信」vol.12発行
12月3日	第2回キャリアアップセミナー開催
12月6日	甲賀・湖南ひきこもり支援『奏-かなで-』「ひきこもりについて考える公開講座」開催
12月18日	第1回子ども食堂大交流会開催
12月19日	臨時総会開催
1月16日	ネクスト縁検討会準備会開催
1月23日	正副代表理事会にて「遊べる・学べる淡海子ども食堂」モデル事業に5団体が採択
1月31日	第6弾子ども食堂開設準備講座(湖南)
2月4日	第3回プロフェッショナルセミナー開催
2月6日	ネクスト縁検討委員会
2月8日	第3回「遊べる・学べる淡海子ども食堂」実践者研修会開催
2月19日	第7弾子ども食堂開設準備講座(東近江)
2月23日	甲賀保健所・家族の会「きらら」、東近江保健所・家族の会「山ぶどうの会」の交流会・学習会開催
3月5日	特別編「遊べる・学べる淡海子ども食堂」実践者研修会開催
3月9日	第2回子ども食堂大交流会開催
3月11日	えにしの日
3月14日	縁塾スペシャル版開催
3月19日	正副代表理事会にて「遊べる・学べる淡海子ども食堂」モデル事業に8団体が採択
3月31日	「えにし通信」vol.13発行

平成
30
年

えにし白書 2017

発行: 滋賀の縁創造実践センター

平成30年(2018年)4月26日

〒525-0072 滋賀県草津市笠山7丁目8-138

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会内

[Tel] 077-569-4650

[Fax] 077-567-5160

[Mail] enishi@shigashakyo.jp

[HP] <http://www.shiga-enishi.jp>

[Facebook] <http://www.facebook.com/shiganoenishi>